

平成29年度 東京都 スポーツ推進企業取組事例集

平成29年度東京都スポーツ推進企業取組事例集

SPORTS
PROMOTION
COMPANY



東京都オリンピック・パラリンピック準備局

◆問い合わせ先◆ 東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号 Tel.03-5320-7723

東京都オリンピック・パラリンピック準備局
Bureau of Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games Preparation

はじめに

平成30(2018)年1月に東京都が作成した『『3つのシティ』の実現に向けた政策の強化～2020年に向けた実行プラン～』では、スポーツをしたくなる気運の醸成とともに、スポーツの場を確保するなど、2020年までに都民のスポーツ実施率^(※)を世界トップレベルの70%にすることを目標にした取組を推進することとしています。

(※) 週1回以上スポーツを実施する人の割合

平成28(2016)年度に東京都が実施した世論調査では、都民のスポーツ実施率は全体で56.3%ですが、20歳から40歳代の「働き盛り世代」を平均すると、50%に満たない状況にあります。スポーツ・運動を行わなかった理由として、仕事や家事・育児により時間がないことを挙げる人が多く、この世代が1日の大半の時間を過ごす企業への働きかけが必要です。

また、3年後に控えた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、企業のスポーツに対する関心が高まり、スポーツを推進する担い手としての存在感が増す中、企業の社会貢献への意欲を引き出し、スポーツの裾野を拡大していくことが必要です。

そこで、スポーツに対する社内外への積極的な取組をしている企業を都が認定し、取組事例集にとりまとめ広く都民に周知することで、働き盛り世代のスポーツ活動を推進する「東京都スポーツ推進企業認定制度」を平成27年度に創設いたしました。

特に、社会的な影響や波及効果の大きい取組をしている「東京都スポーツ推進モデル企業」の選定にあたっては、社員が行うスポーツ活動の支援や促進に向けた取組を実施している「スポーツの実践」部門、アスリートの雇用や社有スポーツ施設の地域開放などスポーツを支援している「スポーツの支援」部門の2つの部門に分け、企業の取組をより明確に示しております。

本事例集では、平成29年度に認定した東京都スポーツ推進企業195社の取組事例を紹介しております。是非、これらの取組を参考に、より多くの企業において実践していただきたいと思います。本事例集が企業にとってスポーツ活動に取り組みきっかけとなれば幸いです。

平成30(2018)年3月

東京都オリンピック・パラリンピック準備局

目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 東京都のスポーツをめぐる現状 | 3 |
| 平成 29 年度東京都スポーツ推進企業認定制度の概要 | 5 |
| 平成 29 年度東京都スポーツ推進モデル企業取組事例 | |
| ○実践 (50 音順) | |
| ① 伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社..... | 6 |
| ② 大同生命保険株式会社..... | 8 |
| ③ 日本航空株式会社..... | 10 |
| ④ 公益財団法人明治安田厚生事業団..... | 12 |
| ⑤ 株式会社ローソン..... | 14 |
| ○支援 (50 音順) | |
| ① あいおいニッセイ同和損害保険株式会社..... | 16 |
| ② TANAKA ホールディングス株式会社 | 18 |
| ③ 中外製薬株式会社..... | 20 |
| ④ トヨタ東京カローラ株式会社..... | 22 |
| ⑤ 日本生命保険相互会社..... | 24 |
| ⑥ ミズノ株式会社..... | 26 |
| 平成 29 年度東京都スポーツ推進企業一覧 (50 音順) | 28 |
| 平成 29 年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会 | 75 |

東京都のスポーツをめぐる現状

◆東京都の目標

より身近な場で誰もがスポーツできる環境を整備し、都民のスポーツ実施率*が世界トップレベルの70%を達成することを目指しています。

※週1回以上スポーツを実施する人の割合

ここでいうスポーツとは

ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけではなく、健康づくりのためのウォーキングや気分転換に行う軽い体操、自然に親しむハイキング、介護予防のためのトレーニングなど、目的を持った身体活動の全てをスポーツとして扱っています。

スポーツをより身近なものとし、これまでスポーツに縁のなかった方にも気軽に楽しんでいただくため、スポーツの概念を幅広く捉えています。

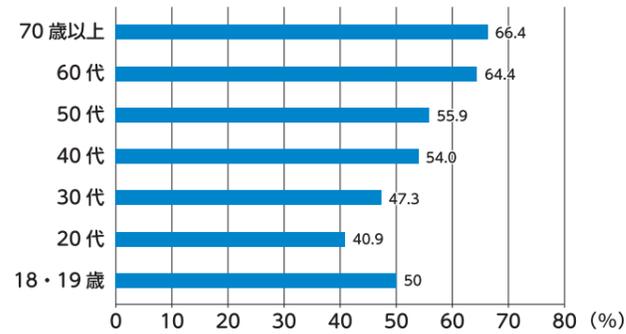
スポーツ実施率に関する現状分析

◆東京都におけるスポーツ実施率の推移と目標値

平成32(2020)年の目標はスポーツ実施率70%達成であり、平成28(2016)年度調査では56.3%となっています。

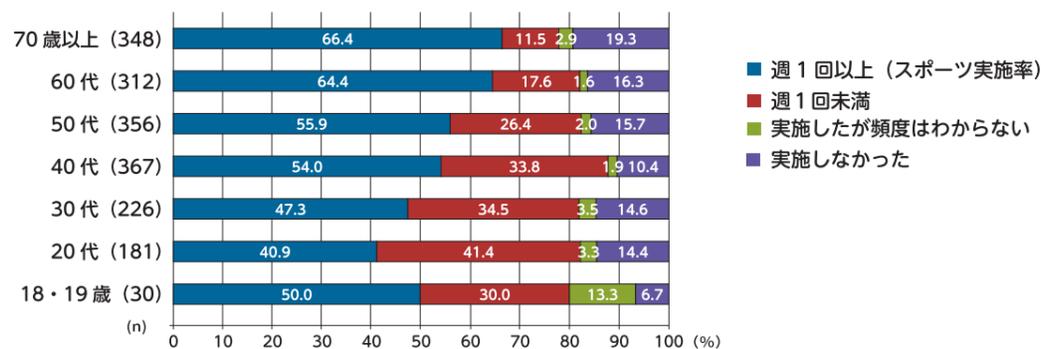


◆年代別スポーツ実施率(平成28年度)



20代～50代のスポーツ実施頻度(週1回以上実施)は全体平均56.3%を下回り、特に20代～30代は40%台と低い。

◆年代別スポーツ実施頻度(平成28年度)



20代～40代は、週1回未満ではあるものの、スポーツを実施している人の割合が他の世代に比べ高い。

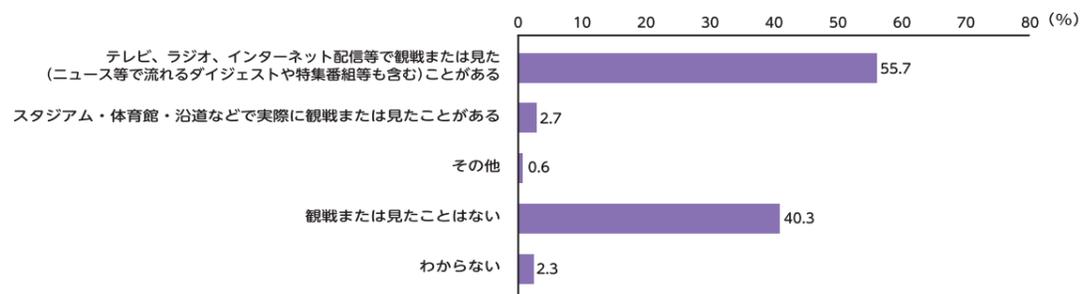
◆スポーツ・運動を行わなかった理由(平成28年度)

「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」、「機会がなかったから」、「年をとったから」の順

20代～40代の「働き盛り世代」のスポーツ実施率を向上させるため、1日の大半の時間を過ごす企業に対するアプローチとして、「東京都スポーツ推進企業認定制度」を創設し、企業の取組を広く周知することで、普及を図る。

障害者スポーツについて

◆障害者スポーツの観戦(平成29年度)



「スタジアム・体育館・沿道などで実際に観戦または見たことがある」人の割合は低い

社員や家族等に障害者スポーツの観戦を呼びかけ、試合を応援している企業の取組等を紹介することで、他の企業への障害者スポーツ観戦の流れを作っていく。

平成29年度東京都スポーツ推進企業認定制度の概要

◆事業概要

「東京都スポーツ推進企業認定制度」の目的

企業のスポーツに対する社内外への積極的な取組を認定し、広く都民に周知することで、働き盛り世代のスポーツ活動を推進するとともに、スポーツに対する社会的気運の醸成を図る。

「東京都スポーツ推進企業」とは

社員のスポーツ活動を推進する取組や、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業のうち東京都が認定したもの

⇒認定された企業には

- 認定証・認定マークの交付
- 都ホームページ等において社名等の公表
- マスメディア等に積極的に取組内容の情報提供 等

「東京都スポーツ推進モデル企業」とは

認定した企業のうち、特に社会的な影響や波及効果の大きい取組をしている企業(学識経験者を含む選定委員会を経て、東京都が決定)

⇒選定された企業には

- 表彰
- 都ホームページや都スポーツイベントで取組内容の公表 等

◆募集対象

都内に本社、事業所を置く企業、社団法人、財団法人、NPO 法人等

◆認定期間

1年間(更新可)

◆スケジュール(平成29年度)

| | |
|-------------------|--------------------|
| 平成29年 8月1日～10月31日 | 東京都スポーツ推進企業募集 |
| 11月 | 東京都スポーツ推進企業認定 |
| 平成30年 1月 | 東京都スポーツ推進モデル企業候補選定 |
| 2月 | 東京都スポーツ推進モデル企業決定 |
| 3月 | 東京都スポーツ推進モデル企業表彰式 |

◆平成29年度東京都スポーツ推進企業認定数 195社
平成29年度東京都スポーツ推進モデル企業数 うち11社

◆関連ホームページ

スポーツ TOKYO インフォメーション「東京都スポーツ推進企業認定制度ホームページ」
<http://www.sports-tokyo.info/company/>



伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社



築地早朝ウォーク

社員親睦会・ウォーキングマイレージ運動

平成28年10月17日～10月23日までの一週間は、社員が歩いた歩数を集計し、会社が歩数にあわせた寄付を行う「ウォーキングマイレージ運動」を実施。歩数の多かった社員を、11月8日に開催した社員親睦会の場で表彰した。



小伝馬町ウォーク

社員親睦会での表彰式



企業
DATA

所在地

中央区

業種

商社

総従業員数

927名

国連WFPウォーク・ザ・ワールドへの協賛・参加

CSR活動、健康増進、社員親睦を目的として、国連WFP協会主催のチャリティーイベント「WFPウォーク・ザ・ワールド」に、平成21年度より協賛企業として参加している。

平成29年度は横浜・大阪で開催され、横浜では山下公園、港の見える丘公園など横浜のランドマークをめぐる5kmまたは10kmのコースをウォーキングした。参加費は会社で負担し、その一部が国連WFPに寄付され、子供たちの飢餓をなくすために使用された。



相互会活動

平成29年10月現在、東京本社では計12の運動系相互会が活動している。具体的には、蹴球部(サッカー・フットサル)、テニス部、ヨガ部、ゴルフ部、空手道部、野球部、スキー・スノーボード部、ランニング部他が現在活動中。主に月2～3回程度の練習・試合の開催や、各種大会への参加を行っている。

また、大阪・名古屋・中国・九州の各支社でも、それぞれスポーツや社会貢献活動を、部活動として実施している。



ランニング部
南魚沼ゴルフがマラソン参加!

階段奨励活動

平成29年11月・12月の2ヶ月間は、「健康月間」として、各種健康促進のためのプログラムを実施。その一つとして、「階段奨励活動」を実施した。本社における、フロア間の移動の際は、エレベーターを利用せず、階段の利用を奨励。

1駅分歩く運動

同じく、「健康月間」のプログラムとして、「1駅分歩く運動」を実施した。出社時・退社時は、最寄駅より1駅前で降り、1駅分歩くことを推奨。

部署対抗フットサル大会の開催

平成23年度に第1回大会を開催。部署単位でチームを構成し、近隣のフットサル場にて、リーグ戦・トーナメント戦での大会を開催。運営は相互会/蹴球部。優勝チームには商品が授与。翌年入社の内定者も参加。



東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

伊藤忠丸紅鉄鋼は、そのルーツである近江商人の「三方よし(売り手によし、買い手によし、世間によし)」に、「社員によし」を加えた「三方プラス1によし」を目指すべく、「健康経営」に取り組んでいます。

以前より各種運動系の相互会が健康増進・社内交流を目的に活動していますが、平成29年度は11月・12月を「健康月間」とし、階段奨励活動など、社員の健康の維持・増進に向けた様々な取組を実施しました。今後も全社を挙げて健康経営を推進します!



大同生命保険 株式会社



従業員向け 「KENCO SUPPORT PROGRAM」の導入

当社が独自開発した健康経営支援ツール「KENCO SUPPORT PROGRAM」を全従業員に提供している。

プログラムのマイページ(Web)を通じて、全従業員に、過去5年分の定期健診結果の推移や目標体重達成に向けて日々の目標歩数を設定する機能、計測した歩数・体重のデータ(*)を登録・管理してグラフ表示する機能等を提供している。

(※) 右記「ウェアラブル端末」等を通じて測定された日々の活動データをマイページ上で表示。

合わせて、マイページを通じて、運動に関する各種トピック情報や、フィットネスクラブ等の運動施設の割引サービスなどを提供し、従業員の健康増進に取り組んでいる。

(参考)

「KENCO SUPPORT PROGRAM」は中小企業における健康経営の実践を支援していくため、その実践支援ツールとして開発したものの。当社従業員だけでなく、中小企業のお客さまへの普及推進にも取り組んでおり、中小企業における日々の健康管理・運動管理等を支援している。

「ウェアラブル端末」 (脈拍計測機能付き活動量計) の提供

日々の健康管理・健康増進に向けた運動等の取組を支援する観点から、普段の活動状況を可視化できる「ウェアラブル端末(脈拍計測機能付き活動量計)」を従業員に提供している。

端末を通じて、心拍数・歩数・消費カロリーなどの普段の活動状況を測定することができ、測定されたデータは、個人のスマートフォンや健康経営支援ツール「KENCO SUPPORT PROGRAM」で提供されるマイページ上で常に確認することが可能。



企業
DATA

所在地

中央区

業種

保険業

総従業員数

約7,500名

ウォーキングキャンペーンの開催



歩数増加による運動の実践・健康増進を目的として、全従業員を対象としたウォーキングキャンペーンを年3回実施している。

キャンペーンには、健康経営支援ツール「KENCO SUPPORT PROGRAM」で提供されるマイページを通じて簡単な操作でエントリーが可能となっており、毎日の歩数はウェアラブル端末等を通じて自動集計。

集計された歩数に応じて、「全国ランキングが表示される」「ランキングに応じたポイントがもらえる」など、楽しみながらウォーキングに取り組むことができるイベントとなっている。

ランニングイベント 「RUNRUNRUN」への参加推奨

当社が加盟している「みどり会※」が主催するランニングイベント「RUNRUNRUN」について、社内通知を通じて、全従業員に参加を案内。あわせて、当日の様子を社内報やフェイスブック等を通じて情報発信。イベント内容や当日の様子などの情報について、社内への周知、社外への普及推進に取り組んでいる。

※「みどり会」は、昭和45年に旧三和銀行(現 三菱東京UFJ銀行)とその主要親密企業により設立された企業グループで、現在の構成メンバーは161社。



各職場でのラジオ体操や ボランティア活動を通じた 運動等の取組

全国の支社で、毎日朝礼が始まる前の決まった時間帯に音楽を流すなど、職場全体でラジオ体操に取り組んでいる。

若手・スタッフ層の企画・運営のもと、様々な社会貢献活動に取り組む「みんなでGDH運動」を実施。今年度は、「健康増進」をテーマに運動を展開しており、近隣の清掃などの体を動かす活動や、社内メンバーや家族・関係先を対象としたスポーツ大会の実施などに各拠点一丸となって取り組んでいる。

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

当社は、従業員向け健康経営に関する取組を「DAIDO-ココ・カラ(心と身体の略)」と総称し、経営トップのコミットメントである「ココ・カラ宣言」のもと、様々な施策を通じ従業員の日々の健康増進に積極的に取り組んでいます。

また、各施策の展開にあたっては、全国の職場単位で若手や女性が中心の「ココ・カラリーダー」を選任し、ウェアラブル端末の利用促進、ウォーキングキャンペーン等の健康増進イベントの案内など、職場での健康増進をボトムアップで推進しています。



日本航空株式会社



「JAL ウェルネスアワード」
最優秀賞受賞 ボクササイズ



「ウェルネス活動」

全国各事業所に227人の「ウェルネスリーダー」を配置し、同リーダーを中心にウォーキングや運動会、皇居ランニングや駅伝大会、バレーボールやソフトボール大会、体組成計の貸し出しによる測定会の実施、ボクササイズやヨガ等、各職場の健康課題に見合った健康増進活動＝「ウェルネス活動」を実施している。

また各活動に対して健保から一定額を補助することで、多くの社員が参加しやすくなり、健康増進に加え、職場のコミュニケーション向上にも繋がっている。

平成27年からは「JALウェルネスアワード」を設定、担当役員より優れた取組を表彰し、合わせて社内報等にて社内に紹介することで活動の更なる活性化を図っている。



「JAL ウェルネスアワード」
表彰式



優秀賞受賞
太極拳セミナー

敢闘賞受賞
美軸ラインウォーキング

企業 DATA

所在地
品川区

業種
運輸業

総従業員数
約 11,449 名

本気のラジオ体操

日本航空健康管理部が取り組む健康増進活動で、健康管理部フィットネストラナー（健康運動指導士）の指導のもと、ラジオ体操の動きを正しく習得し、毎日の朝礼時にメンバー全員で実施している。「本気のラジオ体操」は産業医が命名。ラジオ体操は健康増進はもちろんのこと、職場の一体感醸成にも有効であり、海外を含む全社展開、特に冬場等野外での運動に制約がある地域に向け、「本気のラジオ体操」のDVDを作製し、社内報やイントラネットにて紹介し、普及を図っている。



JAL健保とコラボした健康施策

- JAL健保とコラボした各種健康増進活動の実施。
- ①秋の健康フェスタ
(毎年10～11月/ICTを活用したウォーキングコンテストや生活習慣改善)
 - ②独身男女を対象とした「宝探しウォーク」(毎年10月)
 - ③江戸の歴史散策「お江戸ウォーク」
(毎年11月/現役社員に加えOB・OGも参加)



客室乗務員の乗務前後ストレッチ

時差や気圧・湿度の低い機内という特殊な環境の中で「運航の安全」や「最高のサービス」を提供するため、約5,000人の客室乗務員に対し、健康管理部トレーナーによる乗務前後のストレッチ指導を行っている。また全客室乗務員に配布しているタブレット端末に健康管理部トレーナー監修のストレッチ等エクササイズ動画レッスンを収録し、各自が自宅や宿泊先のホテルで実践することにより、疲労回復、リラックス効果を得て、万全の体調で次の乗務に臨めるようにしている。

文化体育部活動

JALグループの文化体育部(文体部)はラグビー部、テニス部、空手部などのスポーツ系クラブをはじめ文化系クラブ(華道部、合唱など)等も含めて、JALグループ社員の参加による様々なクラブ活動に積極的に取り組んでいる。

また客室乗務員で構成されているチアリーディングチーム「JAL JET'S」はJAL体育部の応援活動に加え、社内外の各種イベントでも精力的に活動している。

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

日本航空では企業理念である「全社員の物心両面の幸福」を実現するための原動力は社員の「心身の健康」であるとの認識のもと、中期経営計画に連動したJALグループ健康増進計画「JAL Wellness」をベースに、健康経営責任者である副社長を中心とした経営の強いリーダーシップ(トップダウン)と全国各事業所に配置した計227人のウェルネスリーダーを中心に実施する各種スポーツ等の健康増進活動＝ウェルネス活動(ボトムアップ)の両輪により健康経営を推進し、安全で快適な空の旅を提供して参ります。



公益財団法人 明治安田厚生事業団



座りっぱなし解消！
部署全員で1時間ごとに
1分間ランニング

仕事の中に「スポーツ」を取り入れる！ ワークスタイルのスポーツ化

公益財団法人 明治安田厚生事業団は、運動を中心として、健康増進に関する研究やプログラムの開発・普及を行っている。平成29年6月に「健康宣言」を行い、職員の座りすぎと運動不足の解消を組織一体となってサポートしている。

仕事中の座りっぱなし解消のために、1時間ごとに時計から流れる音楽に合わせて、部署全員で約1分間ランニングを行っている。途中で反対周りをしてみたり、わざとスピードを変えてみたり、遊び心も加えて、コミュニケーションツールとしても役立っている。

運動不足解消のために、本来は業務用のトレーニングルームを昼休みに職員に開放している。さらに、健康保険組合が行う任意参加の「4ヶ月で100万歩キャンペーン」には、役員が先頭となって全職員で参加した。毎日の歩数を専用のシートに記録し、「今日は何歩？」など職員同士が楽しみながら実践した。

私たちは、このように「仕事の中で楽しみながら少しでも体を動かすこと」を「ワークスタイルのスポーツ化」と呼んでいる。これからも、運動や健康の専門家として、自らの健康づくりも推進していきたい。



職場内の運動環境
「トレーニングルーム開放」



全員で参加
「4ヶ月で100万歩キャンペーン」

企業
DATA

所在地

新宿区

業種

調査・研究事業

総従業員数

約17名

①昇降式デスク+α

デスク買い替え時には昇降式デスクを推奨。昇降式デスクにバイクやバランスボールを組み合わせる等、各自が工夫。



+
バランス
ボール



+
バイク

②昼休み&夕活スポーツの推進

昼休みと就業後の時間を利用し、併設する野外のテニスコートでのテニスや、ランニングロードでのスロージョギングを行うなど、職員同士の「楽しむスポーツ活動」を実施している。



活動を継続させるための工夫

①環境整備と風土づくり

日常的に座りすぎと運動不足を解消する環境づくりに力を入れている。さらに役員が率先して活動量計を着け階段を利用するなど風土づくりにも取り組んでいる。

理事長は毎日
9階まで階段



②自然と体を動かしたくなる 雰囲気づくり

業務の中で得たスポーツ科学の最新情報を職場で共有し、開発した運動プログラムを体験するイベントも開催。

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

スポーツの語源はラテン語で「deportare(気晴らし、楽しむ)」です。そこで「自発的に楽しんで体を動かそう！」という思いを込めて「スポーツ化」という言葉を使っています。気分転換に「立つことだってスポーツ」ととらえています。多忙なビジネスパーソンの健康づくりのカギは、仕事の中にスポーツを持ち込むこと、つまりワークスタイルのスポーツ化です。コミュニケーションが活発になり、生産性が向上するといった効果を実感しています。

LAWSON

株式会社ローソン



業務と同じようなやりがいや達成感を、
運動会を通じて得る!

新・元気になろーソン!

平成29年度は、「新・元気になろーソン!」と銘打って、ローソン大運動会を全国8エリアで実施。ハンディキャップを持つ社員でも参加できるように、歩数チャレンジを実施し、エリア別対抗で歩数のUPと、健康の増進を図っている。

また、運動会では、「大人の体力測定」を実施、握力や体前屈、反復横跳び等の測定を行い、運動不足を実感することで、「運動をしよう」という意欲を高めてもらうきっかけになるよう働きかけている。平成29年10月～12月にかけて、各エリアで運動会を実施。歩数チャレンジでは1,700名が参加。

組織・チーム・個人で参加しやすい複数のメニューを用意。

全社：健康大運動会
～目指せ! 日本一の元気エリア～

エリア：エリア対抗歩数チャレンジ!

チーム・個人：元気チャレンジ!
～選べるチャレンジコース～



企業 DATA

所在地
品川区

業種
小売業・サービス業

総従業員数
約9,144名

健康チャレンジ

全従業員と一緒に健康意識を高め、健康数値を改善するため「健康90日チャレンジ」と銘打った健康増進期間を平成28年9月から年2回継続的に実施中。

1食あたりの糖質量をコントロールし食生活の改善を図る『ロカボチャレンジ!』や『禁煙チャレンジ!』と併せて、『部門健康チャレンジ!』を実施。部門ごとに週1回、ラジオ体操、階段を利用する、会社までの1駅を歩く、などの健康活動を実施。期間中は各部署の取組を社内報に掲載し、実施率のアップを図った。

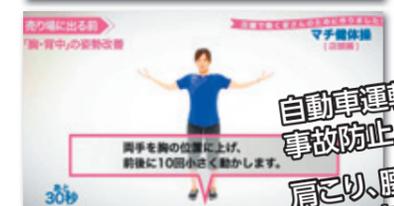


マチの健康体操

立ち仕事の多い店舗社員の腰痛対策や、車の運転時間が多いスーパーバイザー(店舗指導員)のために、ローソンオリジナル「マチ健康体操」を活用したストレッチ体操を作成。いつでもどこでもでき、気分転換となるよう、スマートフォンや店舗PC(フランチャイズ店舗を含む)に動画を配信している。

また、動画には、社員であり、ソチオリンピック代表の元アイスホッケー選手の平野由佳さんが出演している。

ドライバー編・店舗編の動画も配信!



自動車運転の
事故防止
肩こり、腰痛の
予防のため

スポーツ大会

例年、全社員が参加するスポーツ大会を開催している。平成21年からスタートし、ソフトボールやソフトバレーの他、ボーリング大会なども開催。例えばソフトボールは、女性が打ちやすいような特別ルールを設けるなど、年齢や体力に関係なくみな参加しやすい運用を心掛けている。

毎年各8地区で予選会を開催し、地区優勝チームが集まる最後の決勝大会を、東京(他)で開催する。

部活動

スポーツや文化活動など、5人以上でテーマを決めて申請するローソン公認の部活動。

活動内容は、社内のコミュニティサイトを活用して報告することで見える化も図られている。

組織内や組織を越えたメンバーで活動することで、コミュニケーションの活発化と業務円滑化につながっている。

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

健康大運動会は、社員の7割以上が参加するという、実は予想を超えた参加人数と大変な盛り上がりで開催されました。

各エリアそれぞれで、種目構成やルールを企画し運営することで、社内の主体的な行動の醸成にも繋がりました。

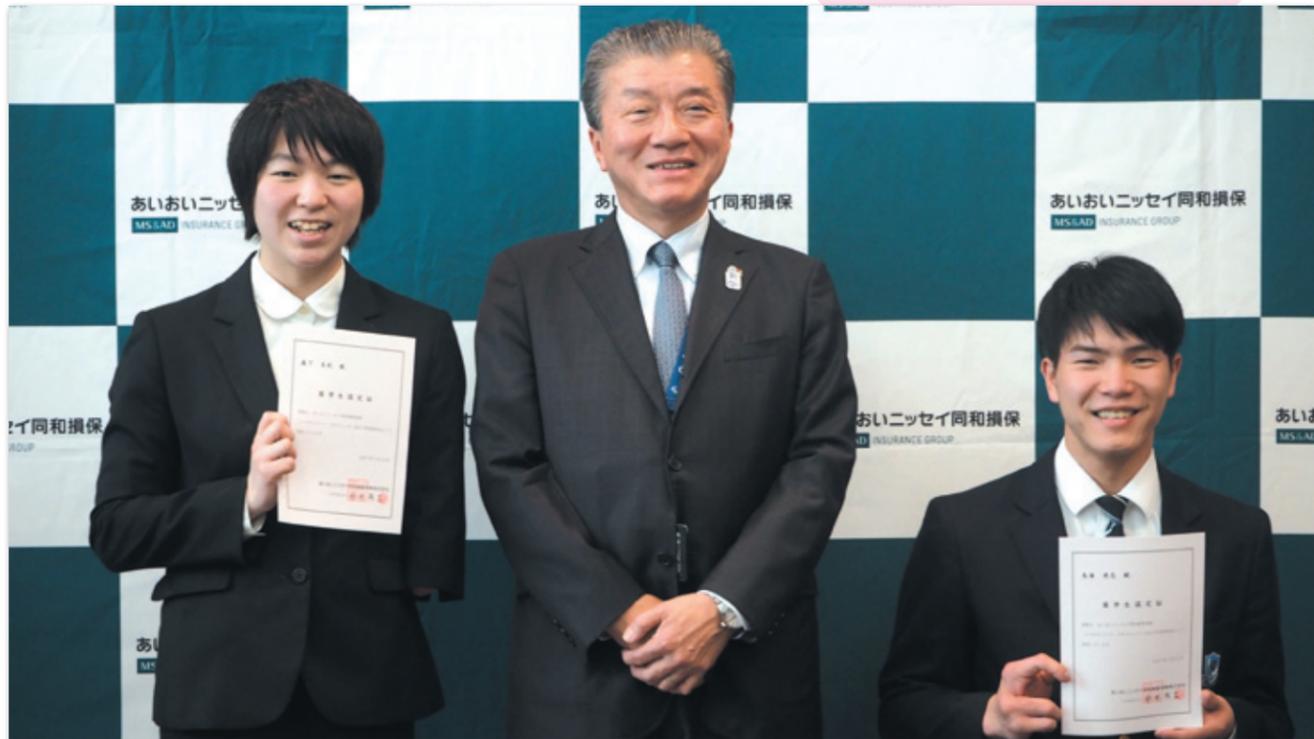
参加した社員からは、「性別年齢関係なく、チームみんなが楽しんで参加することができた」とたくさんの声を頂きました。

これからも、お客さまの健康生活全般をサポートするとともに「明るく元気に楽しく」ローソンらしい文化を全員で作りに上げてまいります。

あいおいニッセイ同和損害保険

MS&AD INSURANCE GROUP

あいおいニッセイ同和
損害保険株式会社



パラアスリート・スカラシップ制度創設

関係先へのヒアリングを行ったところ、パラスポーツの現場では、普及による裾野拡大とともに若手アスリート育成が喫緊の課題であるとの声が大きかった。

当社では、そのような背景から、次代を担う障害者アスリート育成のために、志が高く能力のある若手アスリートを応援する「パラアスリート・スカラシップ制度」を創設。

本制度は、構想から1年をかけた枠組みを熟考し、競技団体等の協力を得、パラアスリート強化の環境づくりの一助になることを期待して当社が制度構築した。

平成29年度、本スカラシップ制度の第1号認定者は、以下の2名。
鳥海連志 選手(車いすバスケットボール/大学1年生)
森下友紀 選手(パラ水泳・競泳/大学3年生)

〈本制度の概要〉

1. 制度導入の背景

世界のパラ競技の水準は急速に上昇しており、次世代を担う若手選手の育成が喫緊の課題となっている。また、パラ競技は専用の器具や介助者などが必要であり、若手アスリートにとって経済的に大きな負担ともなっている。

2. 制度概要

【目的】アスリートの活動を経済面で支援するとともに、学業と競技の両立による人間形成を後押しする。

【種類】給付型奨学金 【期間】平成29年4月から1年間(卒業まで継続可)

アスリート雇用の進展が奏功

平成29年度は、アスリート3名を採用(パラアスリート2名・五輪アスリート1名)し、所属アスリートは20名ほどの水準となった。所属アスリートの強化支援を考える過程で、とりわけ、パラアスリートの強化支援を検討する契機を得られた。

障害者スポーツ関連団体への
社員募金寄贈

中央競技団体のほか、関連する団体に対し、社員による募金の寄贈活動を開始した。とりわけ、(一社)日本パラリンピアンズ協会を通じて、頑張るアスリートに直接的な支援が届けられることを期待して実施。

この募金寄贈により、社員の気持ちが障害者スポーツ支援に役立つことを実感している。



また、地域の障害者スポーツ協会に対しても、社員による募金の寄贈活動を行っている。

このことにより、地域貢献活動に資するとともに、地域における障害者スポーツの普及・啓発活動につながることを期待している。

企業
DATA

所在地

渋谷区

業種

損害保険業

総従業員数

16,163名

所属アスリートによる
小・中学校向け体験授業

子どもたちに「生き方」「夢を持つこと」を伝える教育を実践することを目的とし、当社所属アスリートが講師となり、小・中学校での体験授業を展開している。

スタートは目黒区とのコラボによる実施。その後、東京都の事業の一環として、東京都の小学校で経験を積むこととなった。

気づきとして、子どもへの教育を通じて、保護者の共生社会の理解など波及効果が大きいのと感じており、また、多くの小学校が保護者参観も可としているため直接観てもらうことが有効であろうと感じている。

主な内容

- 1限目：全校生徒向け講演
- 2限目：障害者スポーツ体験(体育授業)
- 3限目：障害者スポーツ体験(体育授業)
- 給食：生徒と給食を摂りながらコミュニケーションづくり



スポーツ振興(特に障害者スポーツ支援)による自治体との連携協定

地域のニーズに呼応するため、「スポーツ振興(特に障害者スポーツ支援)」を重点項目とした自治体との連携協定を促進している。

従来、協定した後の具体的な取組がなかなか進展しないとの声が各地から聞かれたことから、当社は協定締結がスタートと考えた。

当社は、東京2020年大会のその後の活動にもつなげることを目指しているため、具体的なテーマで協定を締結し、具現化している。



長野市パラスポーツデー/秋田選手(車いすバスケット)



鳥取県調印式/青木選手(競泳)・白砂選手(パラ陸上)

デフリンピック社内壮行会、国際大会への協賛

夏季デフリンピック・サッカー日本代表に当社所属のアスリートが選出された。パラリンピックだけでなく、デフリンピックも知ってもらい、社内の盛り上げ機運醸成と選手への激励の意味を込めて社内壮行会を実施。



また、デフリンピックの壮行試合となった日韓戦では、当社が冠スポンサーとなり、多くの社員が参加し、日本代表の所属アスリートを応援した。

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

当社では、アスリート雇用も進展し、アスリートの活躍と社員による試合応援がリンクし始めています。これにより、双方の意識変化が現れ、好循環の取組になっています。同時に社員の共生社会への理解もより深まりつつあります。

また、アスリートの競技力向上につながる支援も実施し始めたことから、障害者スポーツの現場目線も醸成されてきたように感じています。

これからも、東京2020大会のその先を見据え、アスリートおよびそれに関わる人々の活躍の場が広がるような取組をしっかり考え、継続したいと思っています。



TANAKA ホールディングス株式会社

日本ブラインドサッカー協会 (JBFA) のパートナー、
ブラインドサッカー女子日本代表
スポンサー企業として協賛



©日本ブラインドサッカー協会

ブラインドサッカーの 啓蒙・普及活動を応援

日本ブラインドサッカー協会 (JBFA) のパートナー、そしてブラインドサッカー女子日本代表スポンサー企業として、協会主催の国内試合、国際試合の応援を始めとするブラインドサッカーの啓蒙と普及のために、様々な形でその活動を応援している。

コーポレートサイト (HP) に、 ブラインドサッカーの魅力紹介ページを 新設・公開

日本ブラインドサッカー協会 (JBFA) のパートナー、ブラインドサッカー女子日本代表スポンサー企業であることの公表と、ブラインドサッカーの啓蒙の一助となる競技紹介情報のページをコーポレートサイト (HP) に開設。

ブラインドサッカーの大会・試合の応援観戦

従業員ほかその家族や友人に向け、JBFA主催のブラインドサッカー大会・試合の応援観戦を呼びかけ、参加者みんなでお揃いの応援Tシャツとタオルを持って、応援観戦を実施している。

海外向けニュースリリースの日本語原本 海外向けニュースリリースとしてドイツ語・フランス語版でも配信



大会・試合の応援観戦

企業 DATA

所在地
千代田区

業種
製造業

総従業員数
約 220 名

ブラインドサッカー女子日本代表の ユニフォームの社内巡回展示

ブラインドサッカー女子日本代表スポンサーを務め、チームが着用する代表ウェアに企業ロゴ (右袖) を掲出。その代表ウェアの国内拠点での巡回展示を実施。

ブラインドサッカー競技紹介の 小冊子の制作と配布

ブラインドサッカー競技の簡易ルールや見どころについてまとめた小冊子を作成し、国内の全従業員に配布。



ブラインドサッカー女子日本代表 代表合宿激励訪問

ブラインドサッカー女子日本代表スポンサー企業として、女子日本代表の合宿に激励訪問を実施。



ブラインドサッカー 競技紹介映像の制作と、 社内イントラでの公開

ブラインドサッカー競技について紹介する映像を制作し、社内イントラネットで公開。

障害者スポーツグッズや関連情報の 定期的掲示・展示場所の設置と運用

競技用のボールなどのグッズ展示や、障害者スポーツに関する情報掲示スペースを設置。



ボッチャ協会の講習会受講による、 従業員の「ボッチャ普及員」資格認定

社内体験会を企画するため一般社団法人ボッチャ協会主催のボッチャ講習会を受講、ボッチャ普及員資格の認定を得た。

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

障害者スポーツの「見る」・「知る」活動における工夫点としては、大会会場へ実際に行くことが立地的な面で難しい拠点の従業員にも情報を展開できるよう、逆にその拠点に情報ツールを持ち込む・配布する、動画で見せるなどの手法をとっています。

また、できるだけ最新の情報を従業員に提供できるよう、社内イントラや掲示板を積極的に活用し、情報発信に努めています。

すべての革新は患者さんのために



中外製薬

Roche ロシュグループ

中外製薬株式会社



障害者スポーツ啓発冊子、パネル展示、WEBでもアピール!

広く障害者スポーツを啓発するために、競技用パネルの展示やパンフレットの制作、配布。
また、企業ホームページ上に障害者スポーツ応援サイトを公開し、特集コンテンツを掲載。



WEB サイト



企業 DATA

所在地
中央区

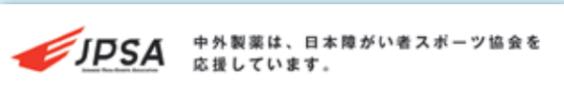
業種
製薬業

総従業員数
約 7,245 名



公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 オフィシャルパートナー

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会オフィシャルパートナーとして、大会の支援を実施。



STAFF'S VOICE

当社は、障害者スポーツの理念「活力ある共生社会の創造」に共感し、「公益財団法人日本障がい者スポーツ協会」のオフィシャルパートナーとして大会やアスリートの支援を行うと共に、障害者スポーツの理解・応援者を増やす取組や、誰もがスポーツを楽しめるための環境作りを行っています。また多くの従業員がボランティアとしてこの活動に参加することで、社内におけるダイバーシティ・インクルージョンの推進を目指しています。

トヨタ東京カローラ

トヨタ東京カローラ株式会社



ジャパンパラボッチャ選手権 試合応援

ボッチャ競技への取組

ボッチャコートが3か所(江戸川店、中央勝どき店、板橋店)に設置し、ボッチャの啓蒙活動、江戸川店ではパラリンピック候補選手の練習にも使用されている。

また毎週木曜日は本社会議室でボッチャ練習会を実施。今後チームを編成し、試合を行う予定。



江戸川店内のボッチャコート



第5回 ユニバーサルボッチャ選手権大会に2チームが参加!



企業
DATA

所在地

港区

業種

自動車販売・サービス業

総従業員数

約 1,440 名

サービス介助士によるパラスポーツのサポート

サービス介助士の資格取得

高齢化社会への対応や障害者の方への支援を想定し、本社、各店舗にサービス介助士資格取得者を配置。社員550名が取得。



Bリーグアルバルク東京の試合での介助活動

アルバルク東京での試合での車いす来場者のサポート。花冠(はなかんむり)シートへのご案内をし、気持ちよくバスケットボール観戦を楽しんでもらう。



車いすバスケットボール

健常者の一般参加者が車いすバスケットボールに親んでもらうためのイベントのお手伝いや、車いすバスケットボール国際大会の応援、運営サポート、ボランティア活動。

トリアスロン パラトリアスロン

トリアスロン、パラトリアスロンの応援及びサービス介助士によるボランティア活動。

ブラインドサッカー

ブラインドサッカーの試合観戦を障害のある方や一時的に機能が低下している方にも楽しんでいただけるよう、また参加選手が競技に集中できるよう、お手伝いを行うなどサービス介助士の資格を活かした活動をする。

車いすテニス

車いすテニスの試合観戦を障害のある方や一時的に機能が低下している方にも楽しんでいただけるよう、サービス介助士の資格を活かした活動をする。



ブラインドテニス

ブラインドテニス出場選手の会場内の移動のお手伝いをする。



ラグビーの試合でのファンイベントのお手伝い

ラグビー日本代表対アイルランド代表の試合会場周辺で行っているファンイベントのご案内やチラシ配りが主な活動。スポーツイベント会場でのサポートの一環と、サービス介助士の訓練の場としてパラスポーツの啓蒙活動。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと



STAFF'S VOICE

当社は様々な社会貢献活動を行っておりますが、とりわけパラスポーツへの支援や応援にはたくさんの社員が関わっております。

ボッチャでは常設コート設置や大会の応援及び参加、Bリーグの試合では難病のお子様とご家族をご招待し観戦を楽しんでいただいております。

また社員550名がサービス介助士の資格を取得しており、ブラインドサッカーや車いすバスケットボールなど多くのパラスポーツ会場でも介助のお手伝いで活躍しています。



日本生命保険 相互会社

「まんが スポーツで地域活性化」事例集 完成お披露目会



スポーツ庁企画「まんが スポーツで地域活性化」事例集の制作に協力し、全国の中学校・高等学校・特別支援学校等(約22,000校)に寄贈した。

当事例集は、スポーツを通じて地域活性化を実現した全国12地域の実例を分かりやすくまんがにしたもの。

当社は、このまんがを通じて、「スポーツによって地域活性化に取り組む人材を創出したい」というスポーツ庁の趣旨に賛同し、各地域でのスポーツ振興・次世代育成の観点から協賛した。

次世代を担う全国の中学生・高校生等に、当事例集を通じて、「スポーツが地域にもたらす大きな力」を感じてもらいたいと考えている。

当社職員約100名が、当事例集で取り上げられた「飯塚国際車いすテニス大会」の観戦やボランティアに参加した。



全国12地域の事例集



| エリア | 事例 |
|-----------|-------------------------|
| 都道府県 市町村 | |
| 北海道 網走市 | ラグビー合宿の聖地へ |
| 岩手県 紫波町 | 日本初のパレーボール専用体育館・オガールベース |
| 秋田県 — | バスケットで秋田を元気に |
| 群馬県 みなかみ町 | 世界が注目するアウトドア天国・みなかみ |
| 新潟県 長岡市 | 市民が主役の交流拠点 アオーレ長岡 |
| 長野県 松本市 | サッカーで地域を盛り上げる |
| 三重県 熊野市 | マリンスポーツでまちおこし |
| 島根県 出雲市 | 「自立と連携」スポーツを核に地域に雇用を生む |
| 愛媛県 — | 瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会 |
| 福岡県 飯塚市 | Japan Open 飯塚国際車いすテニス大会 |
| 佐賀県 — | スポーツコミッションで合宿誘致 |
| 大分県 — | 大分国際車いすマラソン大会 |

企業 DATA

所在地

千代田区

業種

保険業

総従業員数

約 70,650 名

スポーツ教室の開催

日本トップクラスの選手を擁する当社野球部と女子卓球部が、スポーツ振興・地域社会への貢献・次世代育成を目的として、各開催地域の子ども達を対象としたスポーツ教室を開催しており、平成16年の取組開始から、全国47都道府県で延べ4万名が参加している。(平成30年2月現在)



障害者スポーツ振興に向けた取組

平成29年4月より(一社)日本車いすバスケットボール連盟のオフィシャルパートナーとして協賛しており、競技の認知度向上や普及促進に向けて、大会協賛や従業員による観戦応援を実施している。

また、当社在籍の車いすバスケットボール女子日本代表強化選手(北間優衣)を派遣した体験会も開催している。



スポーツボランティアへの参加

平成27年度より、約7万人の全役員・職員が様々な社会貢献活動に取り組む「ACTION CSR-V」を展開しており、その一環として、スポーツ大会・障害者スポーツ大会等のスポーツボランティアにも積極的に取り組んでいる。

平成29年度は、約2,700名がスポーツボランティアに参加した。



東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

当社は、「スポーツを通じた地域社会への貢献」、「応援・観戦等を通じた職員・お客様の一体感の醸成」という観点から、スポーツ支援に取り組んでいます。

引き続き、当社所属のアスリートを中心としたスポーツ教室・体験会の開催、スポーツボランティアへの参加等を通じて、スポーツの持つ力や素晴らしさを全国各地に広げていくとともに、青少年の健全育成、よりよい地域・社会づくりに貢献していきます。



ミズノ株式会社



神田スポーツ祭への協力

神田スポーツ店連絡協議会に加盟しており、当協議会主催の神田スポーツ祭に平成7年の第一回開催から協力。昨年は、車いす&ブラインドスポーツ体験等のスポーツ体験イベントや、体力測定スタンプラリー、お楽しみ抽選会等の企画を開催した。



引退後のアスリートも活躍

競技生活を終えたアスリートが、引退後も社内で活躍できる環境を用意。

現在も十数名の「元」アスリートが、競技で培った経験や知識を活かし、営業、販売促進、事務などの様々な分野で活躍している。



引退後のアスリートが経験・知識を生かせる場に!



企業 DATA

所在地
千代田区

業種
製造業

総従業員数
約 2,178 名



ミズノビクトリークリニックの開催

地域スポーツの振興を目的に、スポーツの楽しさを伝えるとともに、現役のトップアスリートや、かつて第一線で活躍したOB/OGによる実技指導を行う「ミズノビクトリークリニック」を全国各地で開催。

クリニック講師には、五輪・世界選手権などをはじめ国内外の競技界で活躍した20競技 約300名が登録されており、プロの技術や精神を直接伝授するとともに、参加者間の交流を促進する内容となっている。

平成29年度 145回開催 (12月度までの実績)

地域におけるスポーツの振興だけでなく、アスリートに活躍の場を与え、トップスポーツと地域スポーツの融合に寄与することを目的に開催している。

全国各地のプロ・アマスポーツ大会の主催・協賛

(ゴルフ、陸上、野球、バスケットボール、バレーボール他)

全国各地で開催されるプロ・アマスポーツ大会(ゴルフ、陸上、野球、バスケットボール、バレーボール他)を主催、協賛。

また、東京都卓球連盟様と共催で、第8回ミズノカップ2017 東京レディースオープン卓球大会他、ミズノカップと称した大会をソフトテニス、サッカー、バスケットボール等の競技で開催している。

社員によるスポーツボランティアに関する表彰制度

ミズノの社員は競技選手出身者も多く、その多くが野球クラブやサッカーの指導など、地域におけるスポーツ活動にボランティアとして係わり、そのような活動を推進することが経営理念の実現に繋がると考え、社会貢献活動賞として、特に優れた活動を行っている社員を表彰する制度を設けた。

ミズノトラッククラブの運営

ミズノ社員による社員陸上チームを結成、運営している。陸上教室などの活動を行っているほか、在籍選手の活躍は陸上界の活性化に寄与している。

ミズノスイムチームの運営

ミズノ社員による社員水泳チームを結成、運営している。

チームミズノアスレチックの運営

陸上競技部が無い社会人選手や、所属クラブが無い有望な選手に陸上を続けて欲しいということから、平成17年4月にチームミズノアスレチックを設立、クラブチームの形態を取り、運営をしている。

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

人々がより豊かで快適な生活をおくするためにスポーツは重要な役割を担っていると考えており、当社の経営理念は、「より良いスポーツ品とスポーツの振興を通じて社会に貢献する」と定めています。

今後も、所属選手も講師を務めるビクトリークリニック、東京都千代田区に根ざした神田スポーツ祭りなど、様々な取組を通じて、子供からお年寄りまで、多くの方がスポーツに触れていただける機会を創出して参ります。

平成29年度東京都スポーツ推進企業一覧 (50音順)



アクサ生命保険株式会社



ブラインドサッカー支援を通して「交ざりあう社会」の実現へ

ブラインドサッカーの認知向上とプレー環境の整備及び日本代表チームのサポートを組み合わせる形で競技を支援している。また、「スポ育」とよばれる小中学生を対象としたダイバーシティ&インクルージョンプログラムの創設にも貢献している。日本代表選手の雇用や、多くの社員がボランティアとして参加するなどし、会社一丸となって、ビジョン実現に向けた取組をサポートしている。



アクセントチュア株式会社



障害者アスリートの雇用及び大会出場等活動支援

障害者アスリートを雇用し、国際大会出場における支援をすることで競技に打ち込める環境を整えている。また、リオパラリンピック出場を受けて、社内で壮行会や報告会を行うことで社員のパラリンピックへの関心を高めたほか、理解促進や交流を図った。



株式会社アスティーク



スポーツ大会への社員派遣を通じた大会運営支援

東京都少年サッカー連盟第10ブロック2・3年生大会(アスティークカップ)を協賛しており、社員による会場設営・撤去・選手誘導・試合撮影・写真データの提供などの大会運営補助を行っている。



株式会社アスリートプランニング



スポーツ大会の観戦

六大学野球、アメフト、ラグビー、競漕、サッカー、相撲等の各種大学スポーツの大会観戦を積極的に実施している。今年度は、六大学野球、アメフト、ラグビー、サッカー等12種目の応援ツアーを実施した。また、社内でも従来からあった陸上部に加え、新たに野球部が立ち上がった。



朝日信用金庫



職員スポーツ活動に対する支援

毎日、朝礼時に、ストレッチ体操「信ちゃんストレッチ」を実施している。また、クラブ活動の試合に際して、交通費・親睦会費用の補助、職員の応援団を組織するなど、職員のスポーツクラブ活動を積極的に支援・推奨している。



株式会社アシックス



制度変革によって従業員のさらなるスポーツ活動を推進

今年度は新たに、よりスポーツ活動を促進する制度を施行し、一人ひとりの健康的なライフスタイルの実現に繋がる全社的な取組を開始した。サマータイム制の導入やスポーツ休暇の施行、社内外における多彩なスポーツプログラム(スポーツライミングやファイトネス、ヨガ、ランニングなど)を実施している。



株式会社アセットリード



ブラインドサッカー協会への協賛・各種体験会イベントへの協賛

小・中学校へのブラインドサッカー体験授業「スポ育」への協賛をしているほか、新卒採用の選考手法の一つとして、ブラインドサッカーのワークショップを導入するなど、スポーツを通じて障害者と健常者が共生する社会を実現するため、様々な取組を行っている。



アビームコンサルティング株式会社



社員向けにストレッチや筋トレ、ウォーキングのセミナーを実施

リセット・コンディショニングセミナー、からだの使い方(ストレッチ&筋トレ)セミナー、スマートウォーキングセミナー、ウォーキングキャンペーンなど社員向けのセミナー等を実施している他、社内クラブの活動やスポーツクラブへの入会などへの支援も行なっている。



アポロメディカルホールディングス株式会社



市民マラソン大会への参加、スポーツ観戦、所属選手の応援等、従業員の『する・観る・支える』を促進

福島県を中心とする当社出店エリアにおいて、地域のマラソン大会に団体で参加した。(各大会とも30名程度が参加)

各個人の能力にあわせて5kmまたは10kmのコースを選択していたが、最近ではハーフマラソン、フルマラソンへの参加も増加している。



株式会社アミックグループ



スポーツ大会・イベントへのボランティア派遣や参加

スポーツ大会やイベントへ、運営ボランティアを派遣するなど支援を行うことで、大会やイベントの活動サポートを実施している。また参加した大会やイベントの情報を、ホームページやSNSなどを活用し情報発信をすることで、大会やイベントの盛り上げに貢献している。



株式会社 ANSIN-LINK



アスリートの雇用及び応援観戦ツアーの実施

フットサル・硬式テニス・ゴルフ・野球・陸上・スノーボード等、社員がスポーツをする機会を社内サークルとして、定期的に設けている。

また、雇用している社員がプロ選手(ボクシング・スノーボード)ノアマ選手(クライミング・陸上・カヌー・ポロ・水泳)として出場する大会の応援ツアーを実施している。



いちご株式会社

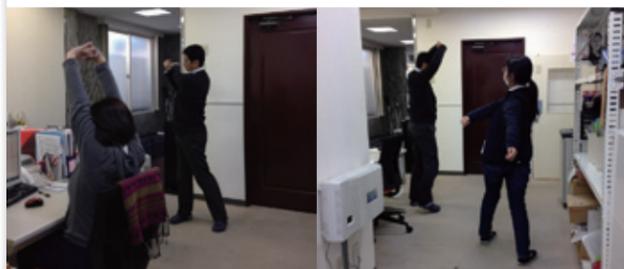


アスリートの雇用及び役職員による部活動の実施

ウエイトリフティング・ライフル射撃・陸上部を創部し、メダリストを含む各選手を社員として雇用するとともに、国内外での大会開催時の社内応援ツアーやライブビューイングの実施等、応援にも力を入れている。ウエイトリフティングとライフル射撃においては、協会オフィシャルスポンサーとしてもスポーツの振興に貢献。役職員による部活動(フットサル・ランニング・ゴルフ)も盛んで、業務の円滑な遂行にも繋がっている。



株式会社アメディア



3分間ストレッチの実施

デスクワークで凝り固まった、首・肩・腰を軽くするため、午後3時に声掛けをし、各社員が自席で参加する『3分間ストレッチ』を実施している。知識のある社員が先頭に立って、各社員が自分のタイミングでも出来るよう、習得するまで繰り返し指導している。



アルケア株式会社



障害者アスリート社員の活動を積極的に応援・広報

「健康で豊かな医療福祉社会」というアルケアの社会的使命を3名の障害者アスリート社員(うち1名は勤務しながら競技)がひたむきにチャレンジする姿に重ね合わせ、競技活動や社員の応援の様子を積極的に社内外に広報している。

またスポーツやレクリエーションを通じた社員間交流に対する補助金制度を長年実施している。



いちよしビジネスサービス株式会社



始業時にラジオ体操の実施

社員の健康が生産性向上へ繋がることの趣旨で、短時間で全員が参加できることから、毎朝の始業時に役職員全員でラジオ体操を実施している。ラジオ体操地域リーダー認定者の先導により、月曜日から木曜日はラジオ体操第1、金曜日はラジオ体操第2を行っている。



伊藤忠エネクス株式会社



社内スポーツ活動支援制度による健康増進や、NPO法人支援、アルティメットをはじめとした各スポーツへの協賛

グループ・部門を越え、同好会として各種スポーツ活動を行う団体に対し、活動費用の一部を会社で補助する事でさらなる活性化を図り、社員の健康推進の一助となっている。

また、スポーツ「アルティメット」の国内外の大会への協賛や、日本フライングディスク協会との協働による次世代教育活動を実施している。



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社



スポーツイベントで利用できるボランティア 休暇制度及び活動費補助の利用促進

社員がスポーツイベントへ積極的に参加することで健康増進を図り、一体感の醸成に努めている。「NIPPON IT チャリティ駅伝」への協賛・参加の他、被災地支援のスポーツイベントに、ボランティア休暇取得制度や活動費補助を利用してもらうことで、積極的な参加を促進している。



株式会社イトー



全社員に万歩計を配布し、江戸五街道 の総距離を1年間かけて完歩する 「目指せ!五街道制覇!」を実施

全社員に万歩計を配布し、1ヶ月毎に集計結果を掲示する。
江戸五街道(日光街道, 奥州街道, 甲州街道, 東海道, 中山道)の距離と集計結果の累積を棒グラフで並列表示し、途中経過と達成具合をわかりやすく表現している。江戸五街道の総距離1,593.7kmを1年間かけて完歩する。



ウェルネス・ブランド・コーポレーション



地域イベントへの協力を通じた 健康増進・運動推進・支援活動

地域の皆様の健康増進を目的に、腰痛予防、立ち方・歩き方・運動法・ダイエットなどの姿勢ケアの教室を毎月実施している。また、学校・企業・地域コミュニティ向けに姿勢と健康についての専門講座や企画を実施している。姿勢や運動の大切さを伝え、自らが健康であり続ける体づくりができるように、地域の人々を支援している。



株式会社HSコーポレーション

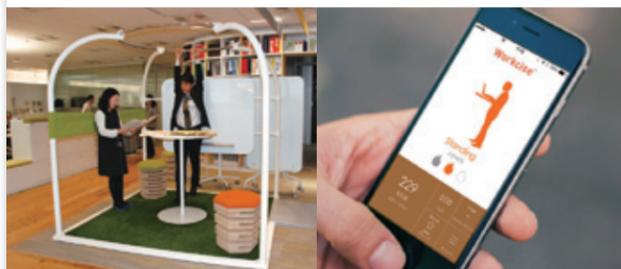


全社員でナイトウォーク・HS運動会を毎年実施、 地域中学、高校へのボランティア

社内の新人研修の一環として毎年4月に実施して、先輩スタッフとチームで25kmを全員で完歩する。運動会は実行委員を選別し、競技内容、チーム分け、準備を行い、それに伴って運動の促進、練習などで健康維持を図っている。また、毎月メディカル・トレーニングの勉強会を社内で行い、地域中学、高校へのボランティアスタッフを派遣している。



株式会社イトーキ



オフィス環境の整備による 健康活動の促進

自由な姿勢で活発にミーティングができるよう吊り輪などを設置したフレームシステムや上下昇降デスクなどを導入しているほか、社内での歩行や立ち作業促進のため、働き方、作業パフォーマンス、消費カロリーなどを分析できるアプリケーションを無償リリースしている。



株式会社ウェルネスファームひょうたん島



スポーツ大会への社員派遣を 通じた大会運営支援

八丈島内各スポーツ大会(バレーボール、柔道、ロードレース等)に救護係として参加しているほか、島内運動会に企業チームとして参加している。また、有資格者(柔道整復師)の社員が島内中学、高校での部活動において外部コーチとして活動している。



株式会社エコ・プラン



仕事もスポーツも”やる気日本一企業”、 70%以上の社員が参加する7つの部活や サークルを運営

7つのスポーツ系の部活、サークルが社内であり、約300名いる社員の約70%が参加。運営費の一部を会社が負担しており、社員が参加しやすい状況を作っている。また役員がこの取組に理解があり、サポートはもちろん、役員自身も参加して社員との交流をするなど、風通しの良い社風作りの一助となっている。



SMK 株式会社



自社障害者アスリート活動情報や ウィルチェアラグビー関連の 情報をSNSで発信

自社障害者アスリートの活動情報やウィルチェアラグビー関連の情報などをSNSを通じて発信することにより、パラスポーツの発展、普及、維持への貢献活動を促進している。またパラスポーツの掃除ボランティアに有志社員で参加するなど、社員が中心となりパラスポーツの応援を行っている。

SMBC日興証券
SMBC日興証券株式会社



障害者アスリートの雇用を通じ、社内外へ障害者及び障害者スポーツの啓蒙を実施

全社員の障害者、障害者スポーツへの意識に変化をもたらす事を目的とし、障害者アスリートを採用している。また、雇用している障害者アスリートは、全国各地を訪問し障害者スポーツの啓蒙活動を行っている。特に学校法人への派遣に力を入れ、若年層の意識改革にも取り組んでいる。

SCSK
SCSK 株式会社



健康増進施策とスポーツイベントの開催(チャリティランニング)

社員の健康維持・増進につながる行動をポイント化し、インセンティブを支給する「わくわくマイレージ制度」で健康経営を推進している。また、スペシャルオリンピックス日本と共催でチャリティランイベント「エールラン」を開催し、社員がスタッフ及びランナーとして参加している。

MPC and
株式会社MPandC



スポーツ大会/イベントや体操スクールなど、地域貢献活動を実施

『アスリート』と『まち』を繋ぐことで、スポーツを通じてまちに賑わいをもたらす、子ども達の夢を応援し、アスリートが必要とされる環境づくりを目的に活動している。東北「夢」応援プログラムのスポーツ教室の運営、高校生フリーキック選手権の開催、自治体や大学と連携した『スポーツほんもの体験教室』の開催等を実施している。

Oisix.daichi
オイシックスドット大地株式会社



障害者スポーツへの食の提供を通じた支援や、社員の試合観戦・体験会を企画

一般社団法人日本ウィルチェアーラグビー連盟とオフィシャルサポーター契約を締結し、食材提供による支援や、情報発信を通じたファンづくりの支援を行っている。また、ウィルチェアーラグビーの試合を中心に、社員による応援や、障害者スポーツの体験会への参加を積極的に行っている。

SGH
SG ホールディングス株式会社



社内スポーツ大会の実施やスポーツ振興及び次世代育成

毎年5月にグループ保有施設にて大運動会を実施している。事業会社混合チームや、全国各支店別など合計25チーム、1,400名を超える参加者が対抗戦を通じて、社員・家族の繋がりを深めている。また、実業団スポーツチームによる小中学生向けの講習会実施や小学生対象のスポーツ体験イベントへの協賛等、スポーツ振興及び次世代育成を支援している。

NTT docomo
株式会社NTTドコモ



歩こうキャンペーンを自社で展開

自社内でヘルスケア事業に取り組むにあたり、自社内の従業員がまずは健康になることが重要ということで、全社をあげて歩こうキャンペーンを実施している。平成29年度は、グループ会社を含め16,000人超が参加した。

地域との共生
青梅信用金庫
青梅信用金庫



スポーツ大会・イベントへのボランティア派遣

長年に亘り、青梅マラソンに大会実行委員として運営協力しているほか、参加者用のグッズ提供や約200名の役職員が大会の参加選手受付ボランティアを担当するなど、協賛企業として様々な面から大会運営支援を行っている。

O-ENCE
株式会社オーエンス



アスリートの雇用及びサポート

6名の現役アスリートを社員として雇用しており、大会出場時には社内会議や掲示板等で情報共有し、社内全体で応援できるようにしている。また、アスリートの後押しになるように、横断幕や応援パネルを作成するなど、様々な面でアスリートの活動を支援している。



大塚製薬株式会社



オフィス内体操や運動プログラムを実施

社員一人ひとりが健康に生き生きと働けることが大切だと考え、週一回のオフィス内体操「ポカリフレッシュ」や、運動プログラム等を実施するほか、各スポーツイベントに社員が自主的に参加するなど、スポーツを通じた健康づくりの文化が根付いている。



一般社団法人鬼ごっこ協会



子供の頃から大人気の「鬼ごっこ」で健康改善

子供達には学校体育や放課後の時間の遊戯として、大人には心のリフレッシュや健康増進のための運動として取り入れてもらえるよう活動している。

協会のスタッフ自身も、身体の健康やメンタルヘルスケアのために各種鬼ごっこやフットサル、ジョギングなどの軽運動も継続的に実施している。



関西ペイント株式会社



マンU公式コーチを招聘し日本の小学生に無料のサッカーセッションを実施

グローバルペイントパートナー契約を結んでいる英国マンチェスター・ユナイテッドフットボールクラブの協力を得て、本場のトレーニングを日本の小学生に無料で提供、全国から応募を募り抽選で192名の小学生が参加した。また夜間コーチセッションを行い、子供にサッカーを教えるサッカーコーチを対象にコーチ法を直接伝授するなど、地域の青少年サッカーの発展も応援した。



管清工業株式会社



自転車大会への社員参加、併設会場ブース出展を通じた復興支援の取組

グッド・チャリズム宣言プロジェクト様及び実行委員会事務局の取組に賛同し、東日本大震災復興支援イベントに参加した。

初年度(平成24年度)から毎年参加(過去6回)しており、自社自転車部のレース参加および併設会場ブースへの出展で復興応援を行なっている。



株式会社オフィス 24

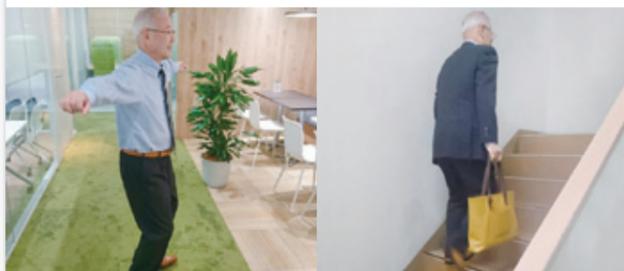


シッティングバレーボール教室の開催

月に一度、シッティングバレーボールの体験教室を開催しており、教室は、パラリンピックシッティングバレーボール日本代表監督・選手等の協力のもと、実施している。また、シッティングバレーボールのオリジナルチームを作り、全国大会に出場したり、他団体との交流会などを行っている。



オントフ株式会社



毎朝の体操の実施、階段利用の促進

健康な体の維持を目的として、毎朝体操を実施しているほか、基本的に営業活動先(ビル)では、階段を使用している。



株式会社かんぽ生命保険



社員・社外向けラジオ体操・みんなの体操の取組支援

始業時や昼休みにラジオ体操を実施している。また、社員のラジオ体操にかかる公認指導の資格取得を支援するとともに、ラジオ体操のCD・DVDを作成し配布するなど、普及推進に取り組んでいる。



株式会社ギガプライズ



社員スポーツ活動に対する支援

野球部、ゴルフ部などの活動推奨と費用補助を実施している。

社員の健康維持に役立てられているほか、スポーツ活動を通して社員同士が部署の垣根なく交流することで、コミュニケーションの活発化を促している。



株式会社協栄



アスリートの雇用 階段利用の促進

アスリート社員の出場する大会等の観戦、ラフティング体験イベントを積極的に行っている。
さらに、本社ビルにおいてメタボリック改善の取組として階段利用を促進している。



株式会社ぎょうせい



社内スポーツイベント実施と 社員スポーツへの支援

社内交流や健康増進などを目的としたチーム対抗のスポーツごみ拾い大会を、毎年10月頃に実施し、例年社員とその家族100名以上が参加している。
また、公認部活動である軟式野球部、バスケットボール部、バレーボール部等に対して、活動費の補助を行い、社員のスポーツ活動を支援している。



協和発酵キリン株式会社



スポーツを通じた社会貢献活動

協和発酵キリン卓球交流大会には毎年各地から約700名が参加する。また、卓球部は障害者支援施設を訪問し、卓球の楽しさを共有している。さらに、近隣の方々にテニスやキックベースボールなどのスポーツの場を提供して地域と交流している。



株式会社久慈設計 東京支社



アスリート社員の広報誌発行による 社内外への活動内容・近況等の周知

女子アイスホッケーの小西選手を雇用しており、選手の近況や活動を報告する広報誌「あかねだより」の社内外への配布や、社員が練習の見学や試合への応援をするなど、社員一丸となって小西選手をサポートしている。



共同カイツック株式会社



障害者アスリート雇用から メジャースポーツまで幅広く支援

ボート競技のカストロ純選手を障害者アスリートとして雇用の他、女子サッカー内藤友花選手、関東女子Fリーグ赤星七美選手を雇用している。
また、工場の屋上フットサルコートを利用して、地域の小学生サッカーチームによるフットサル大会を開催している。



株式会社協和



スロトレ(スロートレーニング) の実施

美容と健康をお客様に提供する会社として、「自らがまずは実践する」との想いから、スロトレをスタートし7年以上の長期的な取組。元オリンピック選手が監修したオリジナルプログラム基礎2種+日替わり2種を毎朝15分間実施している。近年、就業時間に組み入れ社内ルール化。経営者を含め全従業員が取り組むことで、業務の一体感を生み出している。



株式会社クボタ東京本社



企業スポーツの推進と従業員の健康を 目的として、ラグビー観戦ツアーや ラジオ体操を実施

ジャパンラグビートップリーグ観戦ツアーの実施、ラジオ体操の実施のほか年に1回、社内の共有スペースで、ダーツ大会を開催している。毎年延べ500名ほどが参加しており、社員間交流の場にもなっている。



京王観光株式会社



社員スポーツ活動を支援

社内で承認したクラブ活動に対して、クラブ活動補助金を支給するなど、社員のスポーツ活動を支援しており、スポーツを通じた部署間の人事交流は、社内に連帯感を生み出すことに大きく貢献している。



KNT-CTホールディングス株式会社



発達障害の小中学生を対象に実施するサッカークリニックに社員がボランティアとして参加

発達に障害や課題をもつ小中学生を対象にサッカーを通じて「コミュニケーションの力を育てていく」ことを目的として、当社グループの従業員が子供達のサポート役として一緒にプレイしている。
さらに、この活動によって、パラスポーツの普及やスポーツツーリズム推進への貢献を目指している。



株式会社ケー・ティー・システム



昇降デスクやスタンディングチェアの導入

フリーアドレスで、誰でも使用可能な昇降デスクを導入している。
また、スタンディングチェアの立ち会議スペースを作り、打ち合わせ・会議等に使用している。腰保護機能もあり、社員に重宝されている。



広友物産株式会社



健康経営の実現を目指し、「心身ともに健康」に働ける環境づくりを推進

管理職が中心になり、毎朝朝礼前ラジオ体操を実施している。
また、平成29年1月の移転に伴い、健康経営を目指し、健康配慮型オフィス備品を導入した。デスクワークで痛めやすい足腰への負担軽減や気分転換、集中力UPなどの効果を実感している。



株式会社ゴールドウィン



全社員毎朝のラジオ体操から障害者スポーツ推進まで、スポーツをプレイする、見て楽しむ、支えるを実践

健常者にも障害のある人にも分けへだてなくスポーツを楽しむ機会が与えられるよう、「する人」「見る人」「支える人」の三者を等しく支え、誰もが健やかに暮らせる「共生社会」の実現に寄与することを活動指針に、障害者スポーツへのサポートと、障害者スポーツに対する社会の理解促進に向けた取組を積極的に進めている。



医療法人社団涓泉会 (山王リハビリ・クリニック)



東京マラソンへの出場のほか、月に2回地域の体育館でいろいろなスポーツを実施

「東京マラソン」にチャリティーランナーとして院長含め複数名が出場しており、高い目標を設定して走ることによって院内の士気を上げている。
地域の体育館でいろいろなスポーツを実施する運動部では、大会にも積極的に参加するようにしており、ソフトテニス・フラッグフットボール・フットサルの大会にも参加している。



高栄警備保障株式会社



社員スポーツ活動に対する支援

野球部・卓球部・剣道部・空手道部を保有している。スポーツを通じて社員同士のコミュニケーションの機会をつくることを目的として活動をしている。
空手道部は、実業団の大会に出場をして優秀な成績を収めている。



国際ソフトウェア株式会社



社内部門対抗ウォーキングの実施

全社員及び会社OB、OGを対象に参加を呼びかけ、ウォーキング大会を実施している。特に定期健康診断で一定の数値が出た社員には参加を促している。開催都度、趣向を凝らした企画を考え、運動習慣の定着化に繋げている。またグループで競い合う事は必ず企画に盛り込み、社員間のコミュニケーション活性化にも役立っている。



株式会社コナミスポーツクラブ



アスリートの社員雇用と競技部運営

「トータル健康パートナー」として、人々の健康づくりへの取組を行っている。
社内に体操競技部と水泳競技部を設置し、スポーツの普及・発展に貢献するとともに雇用した選手たちの活躍により、人々に元気や感動をお届けできるよう今後も努めていく。



コミュニティベースドリハビリテーション協会



社員スポーツ活動に対する支援 (精神障害者フットサル)

精神障害等を持った方を対象としたフットサルチーム「スペリオ城北コンセンシオ」への監督コーチ、マネージャーの派遣と、練習費、大会参加費の補助、備品の提供を行うなど支援をしている。スポーツを通じて、地域住民への障害の理解、交流を行っている。



是吉興業株式会社



競技と仕事を本気で両立するための実践の場、ホグレル硬式野球部を発足

ホグレル硬式野球部を発足し、選手は自社開発マシン「ホグレル」にてトレーニングも行える環境とし、仕事も競技も本気で取り組める社内環境をつくっている。また、監督 相原雅也は、身体に負担の少ない投球動作を指導する「スローイングクリニック」も実施している。



株式会社ザ・ファースト



アスリートのサポート 及び応援観戦の実施

毎年4月に開催される日本選手権水泳競技大会に社員・取引先・家族・関係者とともに応援観戦を実施している。特に一昨大会では総勢150名の応援団でリオ五輪代表選手選考会の応援に臨み、見事にオリンピック出場の夢を叶えることができ、最後まで諦めない真のアスリートの姿を目の前で体感する貴重な経験がすることが出来た。



株式会社サンアメニティ



スポーツ大会・イベントへの参加

社員の健康増進及びスポーツ振興の考えから、社員の地域のスポーツイベント（マラソン、自転車、水泳、トライアスロン等）への参加を推奨している。会社活動の一つである指定管理者事業において、スポーツ施設管理運営を多数行っている事から、自治体主催の大会への参加やボランティアスタッフとしての参加など、社員の自発的行動により積極的に取り組んでいる。



有限会社コンディショニングサポートウイズ



マラソン大会の開催

毎月第一日曜日に多摩湖において月例マラソン大会を開催している。社員全員が、多くのランナーのサポートを行い、毎回の参加費をNPO法人武蔵野倶楽部を通じてエチオピアの孤児院へ寄付している。また、エチオピアのマラソンクラブチームの支援も行い、選手の中には、大会の賞金でホテルやレストランを建てる選手もいるなど、エチオピアの地域振興にも貢献している。



株式会社サニーサイドアップ

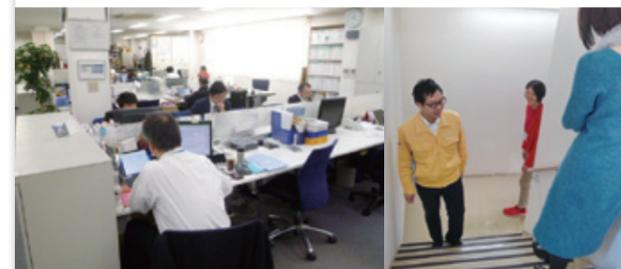


社員のスポーツ活動・健康維持に対する支援

野球・フットサルなどの部活動補助金の支給や、フィットネストラナーを会社に呼び体験レッスンを開催するなど、社員の「スポーツする機会」を支援している。また、月間平均1万歩を歩いた社員や、健康診断で総合A判定を獲得した社員、肥満気味の社員が基準値をクリアすると報奨金がもらえるなど、無理なく健康への意識改革ができるような制度を導入している。



サンシン電気株式会社



身近な運動として、エレベーターやエスカレーターを利用せず、階段利用を推奨・実践

自社ビル内では、来訪者と一緒にの時以外は、原則、全社員のエレベーターの利用を禁止し、階段を利用している。また、日常生活の中でも、駅などのエスカレーターやエレベーターを利用せず、階段を利用することを推奨し、実践している。



サントリーホールディングス株式会社



チャレンジド・スポーツ支援

「PASSION FOR CHALLENGE」というコンセプトのもと、チャレンジド・スポーツ(障害者スポーツ)の育成・普及を応援しており、アスリート個人・団体への奨励金、普及のための体験教室や環境整備などに幅広く取り組んでいる。また、平成27年からは車いすバスケットボール日本代表のオフィシャルパートナーとなり、選手へのサポートを行っている。

CAC 株式会社 CAC Holdings
株式会社 CAC Holdings



ボッチャの普及とその魅力を伝える活動を、社員自ら企画して実施

社員が中心となり、ボッチャ普及の「支援」と「実践」を軸に活動している。日本選手権ほかの公式大会や体験会等にて、スタッフや審判員として運営をサポート。その経験を活かし、都内の特別支援学校を招いて、グループ社員自らの企画・運営による学校対抗のボッチャ交流戦「CACカップ」を初開催した。ボッチャボール間の距離を測定するアプリの開発やボッチャ用具の寄贈などにも力を入れている。

JXTGエネルギー
JXTGエネルギー株式会社



障害者スポーツを応援

障害者スポーツ支援を「知る」「観る」「参加する」をテーマに取り組んでいる。社員やその家族が、障害者スポーツ大会の応援観戦や運営ボランティアとして参加している。また、ブラインドサッカー体験会やパラアスリート講演会を開催し、パラアスリートと交流を行っている。障害者スポーツ支援を通じて、社員の障害への理解促進も図っている。

じげん
株式会社じげん



社員スポーツ活動に対する支援

4階建てオフィスのエレベーターを原則使用禁止とし、階段の利用を促進していることに加え、スポーツイベントに挑戦し、健康を増進することに対しても費用を援助する、健康増進のための活動応援制度を実施している。具体的には、チームレースに社員が参加する際の参加費及び練習費用を支援している。

ZIPSQuality
株式会社ジップス



障害者向けインラインスケート教室の開催

障害者向けインラインスケート教室を月1回、知的障害、発達障害、ダウン症の子供を中心に実施しており、社員に対しても、定例会議やFacebookなどで教室の実施報告やボランティア参加の呼び掛けを行っている。

JTB
株式会社JTB



障害者アスリートの支援および障害者スポーツ運動会の実施

アルペンスキーの障害者アスリート小池岳太をグループ会社で雇用しており、競技活動だけでなく自身の近況をブログにて社内外に発信することでパラスポーツの認知度を高める取組をサポートしている。また、パラスポーツを活用した企業対抗運動会を実施しており、パラスポーツの魅力を広げる取組を行っている。

JPホールディングス
株式会社JPホールディングス



社内運動会の開催およびアスリートの雇用と活動支援

年に一度、グループ全社の従業員を対象に運動会を開催、平成29年度は保育士を中心に約2900人が参加した。陸上7種競技のアテネ五輪日本代表選手やパラ卓球・アルペンスキーの選手を雇用し、国際大会への派遣や社員参加の応援ツアーなどの競技活動の支援、および小中学校での講演会や子供向けスポーツイベントを実施している。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設
清水建設株式会社



共生社会の実現に向けた全社一丸となった障害者スポーツへの支援

NPO法人と連携した子供向けの「障害者スポーツ体験会」を全国各地で開催している。大会の運営には、社員がボランティアで運営スタッフとして参加を行っている。今では社員のボランティアに対する意識が高まり、その他の障害者スポーツ大会にもボランティアとして参加する社員が増えている。

Simon CORPORATION
株式会社シモン



チーム対抗ウォーキング大会の実施

参加者でチームを作り、チーム対抗ウォーキング大会を実施している。また、週1回朝にラジオ体操の実施や社内の階段に消費カロリーや応援メッセージを掲示するなど、階段利用を促進している。



城北信用金庫

城北信用金庫



講演会・運動教室などを通じた地域のスポーツ振興支援

競技種目や活動拠点の異なる選手たちが、ひとつのチームとして活動し、地元小学校で講演会や運動教室を行うなど地域社会とのコミュニケーションを深めている。所属選手が出場する競技会には、参加選手以外の選手が各部署を回って応援参加者を募り、当日も応援参加者に競技ルールの説明を行うなど、金庫としても一体感が醸成されるよう図っている。



株式会社叙々苑



スポーツ活動に対する支援と社内スポーツ大会の実施

軟式野球部やバレーボール部などの社員の部活動を推進しており、各部のリーダーが中心となって、部員募集や活動計画の立案を行い、部の活動内容に応じて運営費を会社から支給している。また、新入社員研修では運動会などを行っているほか、社員のボウリング大会も開催している。



株式会社スタートライン



障害者アスリートの雇用及び活動支援

女子車いすテニス選手を雇用し、大会時に社員に応援を呼びかけ、みんなで応援に行くなど活動を支援している。誕生日には、ケーキでお祝いをするなど、競技以外での交流も増やしている。また、障害者スポーツのポータルサイト「チャレアス」を通して、大会の取材記事の発信を行っている。



スポーツコミュニティ株式会社東京支社



社内のスポーツ活動の奨励や活動に対する補助金の支給

毎日の朝礼や毎週の全体会議の場を活用して、社内のスポーツに関する部活動への参加を奨励している。また、月例会議等においては、活動報告などを行い部員募集など、運営の相互協力やコラボレーションを図っている。さらに、活動計画の立案やそれに基づいた運営を促進し、活動内容に応じて会社から運営費を支給している。



株式会社シンカーミクセル



社内スポーツ大会の実施 東京マラソン参加・応援推進

月1~2回程度のスポーツイベントを開催している。フットサルやヨガ、散歩などの定期開催の種目に加え、卓球、スケート、テニスやウォーキング大会など、様々な種目のイベントを都度企画している。また毎年2月開催の東京マラソンにグループ会社も巻き込んだ社内的一大イベントとして参加している。社内宣伝など応援体制を組んで盛り上げている。



信号器材株式会社



被災地支援(卓球教室の実施)

日本卓球リーグに加盟し、年2回(前期・後期)の大会に参加すると共に、地元の方々が無料で観戦出来るリーグ戦を開催している。また、被災地支援及び地域貢献活動として、卓球教室を開催している。



株式会社スポーツビズ



社員スポーツ活動に対する支援

社内スポーツ活動促進制度(テニス・フットサル・ゴルフ等)を実施している。発起人が全社員へメールで開催日時や内容を告知して、都度参加者を募集し、また毎週の全社朝礼で参加を呼び掛けるほか、各部署の責任者は、部員ができる限り参加できるように業務の調整を心がけるなど、社員のスポーツ活動を支援している。



株式会社スポーツフィールド



新入社員入社式のタイミングに合わせて、全国各拠点から一つの地域に集まり、全社員運動会を実施

スポーツを通じて、全社員の交流を図るとともに、当社らしいあり方を追求し、且つかけがえない一日にするために、当社社員の共通項でもある運動会を企画している。この運動会は2年連続で開催しているもので、普段は全国各地に分かれて業務に取り組むメンバー間での交流と、一体感の醸成を図ることができている。



株式会社スマートスポーツエンターテイメント



スポーツ大会・イベントへの参加

スポーツイベント（フットサル・ランニング・ヨガ等）への参加するとともに観戦会を開催している。得意分野である広報・PR・イベント等の視点から、スポーツと社会をつながられるよう意識し、各関連イベント等の当社HP、SNSなどでの告知、社内はもちろん商店などへのポスター掲示、スポーツメディアへの声かけなどの周知を行っている。



株式会社住ゴム産業



社内部門対抗スポーツ大会の実施

社内の各支店も参加するボーリング大会やソフトボール大会などを実施している。
この取組を通じて、社員の健康増進、スポーツ推進はもとより、コミュニケーションの円滑化を図っている。



セコム株式会社



各種スポーツ競技への協賛、社員による運動部への運営支援

箱根駅伝、東京マラソンなどの長距離競技への協賛を行なうとともに、社会人ラグビー部「セコムラグッツ」の運営支援や、ラグビー男子日本代表、ラグビー女子日本代表、スーパーラグビー「サンウルブズ」への協賛ならびにラグビーワールドカップ2019™大会への協賛等幅広く支援を行なっている。



株式会社セノン



ラジオ体操の実施や、部活への支援、社内支社対抗野球大会、スポーツフェスタの実施、スポーツコンシェルジュの採用

社内にて毎日ラジオ体操を実施している他、活動の盛んなクラブを会社公認の部として活動費用を負担している。
野球部の支社対抗戦や、全国の一般職を対象にしたスポーツフェスタを実施。また、元プロ野球選手をスポーツコンシェルジュとして雇用し、近郊のスポーツ少年団に無償で指導を行っている。

あなたの未来を強くする



住友生命 住友生命保険相互会社



社内チーム対抗ウォーキングイベント・始業時の体操実施

年2回2週間程度のウォーキングイベントを実施している。各部署でチームを作り平均歩数を競い合う。
スマホアプリ健康増進サービス「KenCoM」を導入し、みんなの歩数を共有することで励ましあいながら楽しく取り組んでいる。また、会社独自の「まあいいの体操」も毎朝始業時に実施、加えて、「住友生命グループ健康経営宣言」を公表した。



住友不動産エスフォルタ株式会社



アスリート社員に対する活動支援

アスリート社員の競技成績や取組内容に応じて、大会参加費や遠征費を補助するなど活動を支援している。また、活動を社内報で発信するなど、社員のスポーツを推進している。フィットネスクラブらしい、スポーツにおける優秀な人材を活用することで顧客満足度の向上と競技人口の裾野拡大を目標とし、取り組んでいる。



株式会社セブン銀行



駅伝大会への参加

社員の健康促進、コミュニケーションの活性化を目的に、従業員及びパートナー企業を対象に、平成18年から駅伝大会の参加を推進している。当日は親子のコミュニケーション推進のため協賛している読み聞かせ絵本「森の戦士ポノロン」が描かれたTシャツを全員着用するなど一体感を醸成している。



株式会社セレスポ



スポーツを「する・観る・支える」の角度から推進

クラブ活動の支援制度を設定しており、ワークライフバランスの推進、社員の健康・体力増進及び社員間の親睦を深めることに注力している。
平成29年度は、創立40周年を記念し、全社員を参加対象とした運動会を開催した。
また、長期にわたりパラスポーツ普及に関する支援も行なっている。



セントラルスポーツ株式会社



小学校での「着衣水泳」教室の実施

コーチが店舗の近隣小学校に出向き、「着衣水泳教室」を実施している。約1時間程度、プールにて水泳の授業として行う。衣服を着ていると水中ではどれだけ動きにくいかを体験し、事故防止の為の対処法を身につけられるよう指導を行っている。



全日本空輸株式会社



ANAグループ大運動会 ～世界へ羽ばたけ よいドンッ!!～を開催

ANAグループの全従業員が心身ともに健康かつ、いきいき働くための環境を整備していくことを目的に、スポーツ活動を通じてグループ会社の一体感の醸成と、健康増進に向けた社員の意識改革に取り組んでいる。運動会では、健康経営ブースを設置し、体力測定、体組成測定の実施の他、禁煙へ取組や健康増進のため知識付与を行っている。



損害保険ジャパン日本興亜株式会社

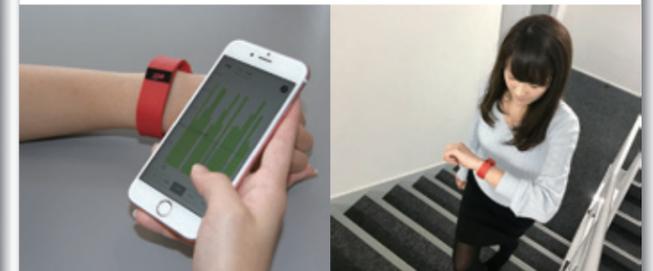


スポーツの支援・普及活動の実施

「ホッケー日本代表とのトップパートナー契約」や「SOMP Oボールゲームフェスタ」への協賛を通じてスポーツの支援・普及活動を実施しており、文化芸術面からの支援も目的に「SOMPOパラリンアート・サッカーアートコンテスト」へも協賛している。また社内広報誌や社内掲示板等での定期的な社内部活動の取組の情宣や、公式Facebookで社外へ向けた情報発信も行うなどスポーツ普及の促進をしている。



損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社



全社員にウェアラブル端末を配布し、ウォーキングイベントを実施

健康で活動的な生活を推進・支援する取組として、全社員を対象にウェアラブル端末を配布し、社員の歩行促進を図っている。目標身体活動量の目安として1日1万歩を推奨しており、社員の歩行数を合計して地球5周分を歩く「目指せ地球5周!」や歩数の部署対抗戦「ひまわりオリンピック」等のウォーキングイベントを実施している。



株式会社ゼンリン



社員一体感醸成および社会貢献のためのスポーツ活動の支援

陸上競技部の選手雇用をするなど、支援活動を行っているほか、本社所在地の北九州活性化の一助として、プロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」の設立に伴い、スポンサーを開始した。



総合警備保障株式会社



スポーツ活動の支援

スポーツを通じて社員相互の団結心向上を図り、社業の発展に努めている。現在は柔道やレスリングをはじめウエイトリフティング、陸上、射撃など10の運動部が活動しており、また、各支社・グループにおいても柔道やフットサル、バスケットボール、陸上競技等の指導を行い、子供たちの健全な育成支援に積極的に取組み、地域社会の発展に寄与している。

一生涯のパートナー

第一生命

Dai-ichi Life Group

第一生命保険株式会社



「健康第一」アプリによるウォーキング推奨

健康で長生きすることが自分と家族みんなの幸せにつながっているという考えのもと、「もっと安心に。もっと私らしく。」をコンセプトに、日々の健康をサポートできるサービスを考え、どなたでも利用いただけるウォーキングサポートを主な機能としたアプリを開発。ユーザーの皆さまに、楽しく、継続的にアプリを使っていただけるよう、目標歩数をクリアするとコンビニクーポンが当たる抽選ができるなど、楽しみながら日々健康を意識できる。アプリを活用し、社内でも積極的にウォーキングする従業員が増加している。



株式会社第一テクノ



全社員が積極的に運動することを心がけ、毎日、始業前にラジオ体操、午後3時にストレッチ体操を励行

社員全員が毎日、始業前にラジオ体操を励行している。また、毎日午後3時に館内放送で音楽を流し、各自それぞれの方法でストレッチ体操を行なっている。また、上りは2階まで、下りは3階まで階段で移動することを奨励している。



株式会社ダイテックス



アスリートの社員雇用、競技支援

テコンドー選手の貫井亜沙菜を雇用、また、選手の国内大会の出場が決まると、社内サイトで情報発信している。遠方からでも応援にかけつける社員も多く、その他社員にも試合状況がわかるよう、社内サイトにて都度情報を更新している。



大日本印刷株式会社



社内スポーツ大会やウォーキングイベントの実施

社員とその家族の健康の確保と活力の醸成を推進することを目的に、総合体育祭(サッカー、野球、ソフトボール、テニス、バレーボール、駅伝)、駅伝大会、野球大会の他、社員とその家族に向けたウォーキングイベントを実施している。



株式会社立飛ホールディングス



「立川シティハーフマラソン」への協賛・出場及び大会ボランティアとして参加

毎年3月に開催される「立川シティハーフマラソン」の特別協賛企業として、ハーフマラソンへの出場のほか、従業員から大会ボランティアを募り、給水所の運営を行っている。その他、昨年開業した自社施設「アリーナ立川立飛」におけるスポーツイベント等、地域スポーツの振興に力を入れて取り組んでいる。



タツミ産業株式会社



毎週水曜日の出勤時に階段(3階)利用促進

本部・関東事業部・家庭用品部が職場である全従業員が対象。毎週水曜日の出勤時に事務所フロアである3階まで階段を使って出勤する。社長自らが率先垂範し、社員のスポーツ推進活動への理解と健康向上を目的に活動している。



太陽生命保険株式会社



クアオルト健康ウォーキングによる健康寿命延伸への取り組みとスポーツ支援

「太陽生命クアオルト健康ウォーキングアワード」を開催し、日本全国へクアオルト健康ウォーキングを普及している。

また、競技環境の整備と普及・青少年の健全な育成を目的に、女子スポーツ(ラグビー、アイスホッケー)の協賛、スポーツ教室の開催を行っている。

信頼のサポート&サービス



株式会社タクト・マシン・サービス



NIPPON ITチャリティ駅伝、その他スポーツイベントへの積極的な参加

都内の各拠点毎に若手、ベテラン、男女の隔てなく駅伝チームを作り、チャリティ駅伝大会へ参加している。

平成28年度は都内以外のエリアからも希望者を募り参加。



多摩信用金庫



役職員・家族大運動会の実施及び地域スポーツイベントへのスタッフ派遣

役職員・家族大運動会は、複数店舗を1チームとすることで、職員同士の交流を促すとともに、子供と一緒に参加できる 競技も盛り込むことで、家族サービスに寄与している。立川シティハーフマラソンには、ボランティアスタッフを派遣。また、少年野球大会等には、支店長等が当日参加し、表彰状・トロフィー等の授与を行っている。



株式会社丹青社



アスリートの採用、スポーツ及び障害者スポーツの普及を支援

地域の子供たちがスポーツにふれてもらえるイベント「きみもメンバーだ! 7人制ラグビー日本代表を応援しよう!」を開催しており、イベントでは、女子7人制ラグビーの原仁以奈(はらにいな)選手が所属するチームによるラグビー体験などを実施している。また、多様性への理解と共生社会の実現に資する取組として実施している「ユニバーサルキャンプTOKYO」において、ブラインドサッカー体験、ボッチャ体験等を採用。



株式会社つなひろワールド



社員に競技用車椅子を1台支給し、社員全員で車椅子ソフトボールの大会に参加

社員に競技用車椅子を1台支給し、車椅子ソフトボールチームTOKYO LEGEND FELLOWSに所属し、車椅子ソフトボール大会に年4回参加している。
また、車椅子ソフトボール大会や全日本視覚障害者ボウリング選手権大会等に協賛し、障害者スポーツにたいしての支援を行なっている。



帝人株式会社



社内ウォーキングイベントの実施

社員と家族の健康増進、職場・家庭内のコミュニケーション活性化等を目的に、帝人グループ健康ウォーキングを毎年秋に実施している。ゲーム感覚で「世界遺産巡り」「ぐるっと一周北海道」等のテーマに沿って、ウォークラリーをしながらバーチャル体験を楽しむ。1か月間の歩数の合計により、個人・チームの優秀者などを表彰している。



東亜道路工業株式会社



ウォーキング大会の実施

心と身体の健康を促進し、活力寿命の延伸を目的として、年一回、秋に実施している。1日1万歩、61日間で61万歩を目標とし、目標達成者には記念品を贈呈することで参加の促進をしている。



東急スポーツシステム株式会社



社内&グループ会社従業員フットサル大会定例開催と地域児童の勇気と自信を育むカナヅチゼロ運動

社内従業員は元より、各グループ会社様の従業員が気軽に参加できる自社施設を活用したフットサル大会を毎年実施している。
また、自社展開しているスイミングスクールの近隣にある小学校と連携して、子ども達の能力開発、水難事故防止、取り組み意欲向上を目的に、夏季に行われている水泳授業へコーチを派遣しサポートを実施している。



株式会社デサント



スポーツ大会を開催し、特別支援学校の生徒等を招待

豊島区及び目白地域の商店街、住民（町会）、学校、企業などと連携し、「目白ロードレース」を開催しており、大会当日も社員が参加者受付やフード・ドリンクサービスなどのサポートを務めているほか、知的障害者施設や特別支援学校の生徒の招待も行っている。



テルモ株式会社



社内ウォーキングイベントの実施

歩いた歩数をWEBサイトに入力し、画面上で果物を育てると、本物の果物が自宅に届く「WEBウォーキング大会 健康チャレンジログ」を毎年実施している。
また、オフィスの中でも歩幅の目安となるピッチサークルを設置して、仕事の中でも「歩く」ことに意識が向くよう工夫している。



東京海上日動火災保険株式会社

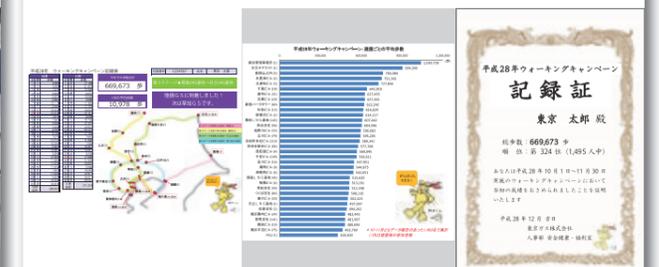


障害者スポーツ支援活動～「知る」「見る」「体験する」

社内、グループ会社も含め、障害者スポーツ大会の観戦応援を実施している。加えて、観戦後に会場の後片付け等を行うボランティア活動にも有志が参加している。また、平成29年度は名古屋でのスポーツ大会でも体験会を実施。社内に簡易ポッチャコートを作成し、誰でもポッチャを体験しやすい環境を整え、社員有志がポッチャ部として定期的に練習し活動している。



東京ガス株式会社



社内ウォーキングイベントの実施

健康の維持向上のための身体活動量を増やすことを目的とし全ての参加者に歩数と順位を記載した「記録証」を送付するなど工夫を凝らした社内ウォーキングイベントを実施している。上位成績者と事業所ごとの平均歩数を社内HPにて掲載しイベントを促進している。



東急電鉄

東京急行電鉄株式会社



「歩く」の習慣化にむけたワークスタイル変革促進や職場対抗ウォーキング選手権の実施

健康保険組合が推奨する健康応援サイトへ登録し、それと連動する歩数計アプリを利用して、職場単位で歩数を競い合う取組や、歩くことを習慣化させるために、歩きやすい靴(スニーカーなど)で通勤・勤務し、日々の働くスタイルから変えていこうという取組(WalkBiz)を実施している。



東京システムハウス株式会社



社員スポーツ活動に対する支援

5つの部活動(ゴルフ・駅伝・テニス・野球・フットサル)に対して年度毎に活動補助費の支援をしている。また、各部門の管理職(部長)がリーダーとなり、定期的にサークル活動を実施するなど、他部署の社員とコミュニケーションを図っている。



東京トヨペット株式会社



店舗・部署対抗の全社野球大会を実施

社員大満足部が中心となり、毎年、春の定番レクリエーションとして位置づけ、盛り上げを図っている。結果は社内報などで社員に共有し、社内のコミュニケーションの円滑化にも役立てている。



東武鉄道株式会社



少年野球・サッカー大会へのボランティアスタッフ派遣

平成29年度で10年目を迎える東武鉄道杯は、(一財)東武博物館が主催する沿線地域における少年野球大会、少年サッカー大会である。東武鉄道は平成28年度までに延べ8,100名を超えるボランティアスタッフを派遣し、会場準備、試合応援等を通じて、次世代を担う健やかな少年少女の成長を支援している。



株式会社東京ドームスポーツ



障害者バスケットボール教室の開催

日本バスケットボール選手会と連携し、障害者バスケットボール教室を開催している。板橋区が進める「スポーツで笑顔が輝くまちへ」の施策に賛同し、若い世代のアスリートを支援することで、地元のスポーツ振興の発展を進め、地域の活性化に寄与している。また、スポーツ活動を推進することで、社内が明るく、一体感の構築にも繋がっている。



株式会社東京都民銀行



都内在住の小学生をサッカー観戦に招待

都内に在住する小学生グループや少年少女サッカーチームを、FC東京の試合観戦に招待している。また、FC東京が掲げるサッカーを中心としたスポーツの普及、振興、地域の活性化に賛同し、青少年育成のための資金を贈呈するなど支援している。



株式会社トーシンパートナーズ



朝のラジオ体操実施、サッカー部・野球部の部活動、社員のスポーツ観戦実施

社員一人一人がいきいきと健康に働くことを目的に、平成16年から朝のラジオ体操を実施している。また、弊社の社員にはスポーツ好きな社員が多く、職場で働く仲間と一緒にスポーツを行いたいとの声が多く上がりサッカー部と野球部を設立。現在、様々な大会に出場している。その他、支援をしているスポーツチーム・団体の試合観戦を社員が行い、一丸となってスポーツチーム・団体の応援をしている。



TOTO株式会社



健康推進イベントの実施、企業運動部の応援の実施

毎朝のラジオ体操の実施、ヨガ教室や体幹トレーニング実施、陸上部によるランニング教室開催など社員の健康推進イベントを各種企画・実施している。また、社内イントラにスポーツ支援専用サイトを作成して、社内に応援を呼びかけるなど企業運動部の大会への試合応援ツアーを実施している。

NTT docomo HEALTHCARE

ドコモ・ヘルスケア株式会社



IOT活用による運動促進、生活習慣の改善、職場環境づくりによる健康経営の推進

自社商品であるウェアラブル活動量計「ムーヴバンド3」や「健康サポートLink」を用いて社内ウォーキングイベントを実施している。
 スマホでリアルタイムに自分の順位を把握し、ランチの遠出や1駅歩くなどモチベーション向上につながった。また、毎朝のラジオ体操や健康経営セミナーなど、社員の健康への意識向上も図っている。

TOPPAN

凸版印刷株式会社



自社スポーツ施設の地域 SC 等への提供

自社の体育館を地域のスポーツクラブおよびプロバスケットボールチーム「東京エクセレンス」へ利用提供している。また、毎朝のラジオ体操や企業運動会、スポーツ専従社員の出場大会の応援、イントラ内での各運動部のホームページやブログの掲載などを実施している。

トヨタ西東京カローラ

トヨタ西東京カローラ株式会社



スポーツを通じた積極的な社会貢献活動を展開し、地域社会の健康と次世代を担う子供達の健全な育成を応援

感謝イベントにてパラスポーツの体験ブースを設け、地域の子供たちを中心にパラスポーツの体験を提供した。当日はパラリンピック出場の子供たちを三木選手、車いすバスケの三宅選手をお招きしお手伝い頂き、一流選手の凄さを直に感じ、普段できない体験もできたと大変好評だった。

NAGASE KE KO Corp.

ナガセケンコー株式会社



社員スポーツ活動に対する支援

実業団として60年以上の歴史のあるソフトテニス部に対する選手雇用の促進や大会への社員応援を実施している。
 また、野球部の活動にも社員の健康増進を目的として支援している。

TOPPAN FORMS

トッパン・フォームズ株式会社



社内スポーツ大会の実施

従業員とその家族の健康増進と親睦を深めることを目的に、毎年社内野球大会やフットサル大会を実施している。
 また、この大会を企画・運営する野球部・サッカー部を初めとする社内のクラブに対し活動の支援を行うなど、スポーツを通じて従業員とその家族の健康維持増進を推進している。

トヨタ東京販売ホールディングス株式会社

トヨタ東京販売ホールディングス株式会社



最高のサポーターを目指し、スポーツ大会ボランティアを開始

港区スポーツボランティア養成講座への参加をはじめ、港区第1回スポーツ教室、第7回エールランinMEGAWEB、グリーンリボンランニングフェスティバルなど東京都内で行なわれるスポーツ大会でボランティア活動を行っている。また、都市対抗野球・アルバルク東京の応援に参加するよう全社員に呼びかけるなど、積極的な参加を促している。

NISSIN 日清食品ホールディングス

日清食品ホールディングス株式会社



社員の健康増進と飢餓と貧困に苦しむ子どもたちへの支援をマッチングさせた「快★段★セブンサミット踏破プロジェクト」の実施

グループ社員有志210名が、自身の健康増進のため、日常生活で積極的に階段を利用している。社員の上った階段の段数を「高さ」に換算し、この「高さ」がセブンサミット(世界七大陸最高峰)各峰の標高に到達するごとに寄付金を積み立てた。実施期間内にセブンサミット全7峰を踏破し、240万円を途上国の学校給食支援のために寄付した。本プロジェクトの参加費21万円は、日本の子どもの貧困支援のため「子供の未来応援基金」(内閣府他)へ寄付した。

Nitto SINCE 1939

日都産業株式会社



職場でのラジオ体操実施およびランニング同好会、社内ゴルフコンペの活動支援

毎朝の始業時にラジオ体操を実施。専門の体操指導員を依頼して、正しいラジオ体操の実施方法を指導してもらっている。
 また、地域のランニングイベントへの参加を奨励し、駅伝チームを編成して参加したり、ゴルフコンペの活動を支援している。



特定非営利法人 日本ウォーキングセラピスト協会



協会会員・役職員等のウォーキングの会

ウォーキングコースが設定されてある場所や、ウォーキングの名所等を選定して、その都度メンバーを募り実施しており、「ピンクリボンウォーキング」等の他団体が開催しているウォーキング大会にも積極的に参加している。そのほか、仕事の合間等にストレス発散や気分転換の為に短めのウォーキングや簡単なヨガ体操も実施している。



公益財団法人日本ケアフィット共育機構



サービス介助士ボランティアによる会場のバリアフリー支援

Jリーグや、ウィルチェアーラグビー、ブラインドサッカーなどの各大会において、「サービス介助士」の資格を有するボランティアスタッフが常駐し、障害のある方への情報提供や案内誘導などの対応を行っている。ボランティアを勤務日として扱い、休暇を用意するなど、積極的にボランティア参加ができるよう体制を整備している。

日本交通株式会社

日本交通株式会社赤羽営業所



営業所を挙げて全員がスポーツを身近にする環境づくり

毎週水曜日、木曜日6時開始、準備運動としてラジオ体操、日交体操を行い、その後近くの浮間公園までウォーキングを行い、公園内の外周周回路を各自のペースでランニングまたはウォーキングし、その後ウォーキングで営業所に戻る内容を実施している。



日本写真判定株式会社



自転車競技選手育成・支援 競輪場のサイクルスポーツ普及拠点化

国際大会を目指す選手の機材、練習場所の提供及び、自転車競技の選手を雇用して「安心して競技に取り組める環境」を整備している。

また、サイクルスポーツの普及拠点として競輪場を活用し、自転車の面白さやスポーツ性を知ってもらうための「サイクルクラブ」を主宰している。



公益財団法人日本体育協会



“自らからだを動かす”から 日本にスポーツの素晴らしさを発信

“仕事でからだを動かす”をモットーに、効率の良い取り組みができるよう「スタンディングミーティング」を実施。職員の健康面にも配慮した取り組みとなっている。また、本会が所有する会館内において、トレーニングのための器具保管・実施場所の提供や、シャワールームの開放を通じて、就業前後や昼休みなどにトレーニングやランニングに励む職員の活動を後押ししている。(平成30年4月1日から「公益財団法人日本スポーツ協会」に名称変更)



日本通運株式会社



自社スポーツ施設の 大学等への利用提供

企業や大学などの各団体からの利用要請に基づき、本社ビルB1Fの武道場（柔道場、剣道場、相撲場）を利用提供している。また、自社の運動部との合同練習や交流試合なども実施しており、こうした取組を通じて、地域のスポーツ振興を図っている。

日本電気株式会社



日本電気株式会社 (NECグループ)



25年以上にわたる車いすテニス支援等 をととしたスポーツの普及・啓発

年齢・性別・国籍・障害の有無に関わりなく、誰もが社会の一員として安全・安心に暮らせる「ユニバーサル社会」の実現に向け、率先して障害者スポーツを応援している。



日本郵船株式会社



チャリティ皇居RUN+WALK (チャリRUN)の実施

平成29年10月～12月の3か月間、皇居外周を利用したチャリティ・ランニング及びウォーキングを実施した。

またプロのコーチによる走り方レッスンを開催し、合計で70人を超える社員が参加。参加費と参加者の走った総周回数に応じた金額を「国境なき医師団日本」へ寄付した。



ねづクリニック



日本ウォーキングサッカー協会のイベントへの従業員・患者の参加推奨と協力

平成29年7月に発足した、日本ウォーキングサッカー協会の顧問ドクターに就任したため、発達障害の方、二型糖尿病の患者の方、走ることは出来なくても歩くことなら可能な気管支喘息の患者の方々をお連れして、休日や夜間に開催されるイベントに参加し、院長をはじめとしたスタッフも競技に参加し指導を行っている。



株式会社ネットラーニング



元アスリートを社員として雇用し、セカンドキャリア支援・競技団体業務の兼務を支援

元アスリートの本業とスポーツ競技団体スタッフとしての兼務や両立の支援を行なっている。具体的には競技団体との兼務がしやすいように、所属部署の配置がえを実施し、就業時間中に競技団体の業務や社外活動をする事を承認。また活動に対しての理解を深めるため、活動内容を社内ニュースで全社員にインフォメーションしたり、競技の体験会に社員が参加するなどの活動を実施している。



野村不動産ライフ&スポーツ株式会社



障害者アスリートへの施設提供

市区との協定を締結し、水泳やボッチャ等、障害者アスリートの競技練習環境を積極的に提供し、従来、不十分であった環境整備によって技術向上と競技の普及促進に貢献している。

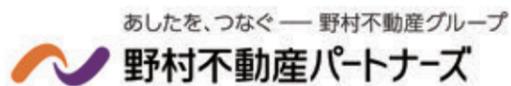


株式会社バイタルエリア



プロサッカー選手志望者の積極的な新卒・第二新卒での採用

プロサッカーを目指して大学4年まで活動し、全国レベルのチームでレギュラークラスとして試合に出場し、プロになれなかった選手の積極的な新卒・第二新卒採用を行っている。
サッカー部×ITでの社会人としての成功を目指す取組を行っている。



野村不動産パートナーズ株式会社



障害者アスリートの雇用及び大会出場等活動支援

雇用アスリートの競技に関わる費用（遠征費、備品、消耗品、大会エントリー、トレーニング代等）を支援している。また、勤務体系を競技優先にするなど、仕事と競技の両立を応援している。



野村ホールディングス株式会社



障害者アスリートの雇用及び情報発信等活動支援

イントラネット上に特設コーナーを設け、社員パラリンピアンによる競技の魅力や、国際大会への出場経験を社員に発信している。また、障害者スポーツ競技の紹介や、大会情報を開示し、社員による積極的な観戦、競技体験を促進している。

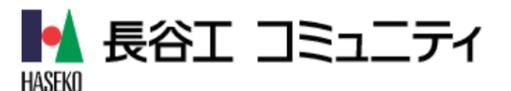


長谷川体育施設株式会社



生涯スポーツ社会の実現を目指しスポーツに親しむ機会を創出

陸上部に所属するアスリート（うち1名は障害者アスリート）の競技活動を積極的に応援している。また社会貢献活動として自治体が主催する陸上教室や講演会へ選手が講師として参加し、スポーツ交流を実施している。さらに社員の健康管理や体力増進、社員親睦を図るためスポーツサークルの活動を支援している。



株式会社長谷工コミュニティ



フットサル部・野球部の運営支援/ウォーキング推奨イベントの参加

フットサル部は、毎月、練習や交流試合を実施している。大会にも参加しており、今後更に活動の幅を広げていく予定。また、ウォーキング推奨イベントでは、各部署から4人1チームを選出し、一定期間のチームメンバー合計の歩数を競い、上位のチームへの景品、参加したチームへ抽選で景品を用意。長谷工グループ全体の取組となるが、長谷工コミュニティとして積極的な参加を促している。

P A S O N A
株式会社パソナグループ



社内スポーツ大会の実施

パソナグループ各社の社員とその家族が、スポーツを通じて互いに知り合い、グループ内のコミュニケーションを促進するとともに、健康的な身体作りを意識する機会として「パソナグループ大運動会」を開催している。また、平成28年からは兵庫県淡路島で年齢国籍を問わず誰もが参加できる「UNDOKAI World Cup」を開催するなど、地方創生と健康社会の実現を目指す取組にも注力している。

P S C
株式会社ピーエスシー



健康維持増進、組織を超えた社員間のコミュニケーションの活性化を目的とし、8種類のスポーツサークル活動を実施

フットサル、テニス、ゴルフ、マラソン、ボルダリング、ボウリング、バスケット、バレーの8つのスポーツサークルについて、毎月1回活動を実施している他、他社との交流試合、ITS健康保険組合主催の大会に参加している。また、朝礼の際に肩甲骨などの上半身のストレッチを中心とした独自の体操を約3分間にわたって実施している。

Fujikura
株式会社フジクラ



グループ会社も含めた従業員が参加可能なウォーキングイベントの実施

グループ会社も含めた従業員が参加可能な「歩数イベント」を年2回開催している。個人成績だけではなく部署ごとにチームを編成の上、対抗戦を行う。参加者にはランキング等閲覧可能個人専用WEBページを提供しイベントへの参加を促進している。

freebit
毎日、発明する会社
フリービット株式会社



**スニーカー通勤の推奨
バランスボール会議室の設置**

社員の健康維持・促進のため、スニーカー通勤を推奨している。その他にも、椅子の代わりにバランスボールを配置した「バランスボール会議室」の設置や、腰痛の予防・解消のためのストレッチの方法の定期的な掲示等を通じ、社員が運動に取り組みやすい環境づくりを推進している。

SHIBUYA FITNESS SHAREZ
合同会社ビーサバイ



フィットネス企業として、トレーナー以外の運営メンバーも正しいトレーニングを定期的実施

アメリカ等で0限目の授業として体育(スポーツ)を取り入れている学校もあり、フィットネス企業として、運営のスタッフが日常的にトレーニングをする事で仕事のパフォーマンスが向上すると考え、運営メンバーがパーソナルトレーナーの指導のもと、ジムの空き時間に正しいトレーニングを定期的実践している。

F O R I T
株式会社フォーイト



スポーツを通じ健康増進及び社員同士のコミュニケーション活性化を実施

社員の健康増進のため部活動を推進しており、現在は、フットサルを含めて5種類の部活が発足している。平均月1~2回のペースで活動しており、社員同士のコミュニケーション活性化にも繋がっている。

また、毎朝のラジオ体操を取り入れるなど、社員の健康増進を実現出来るよう、継続的に取り組んでいる。

Full Speed
株式会社フルスピード



スポーツを通じたコミュニケーションの活性化を目的に、サークル活動報告を社内報などを活用して周知

部活動を通して他部署間交流が盛んにおこなわれており、男女問わず楽しんで活動を行なっている。5名以上集まれば誰でもサークル活動申請が可能で、福利厚生として活動費用の補助も行っている。

現在8つのサークルが活動中で、終業後や週末などを使い積極的に活動している。

Puremina sports aroma
有限会社プレミナ



**「目指せ月間100万歩！
みんなで歩こうプロジェクト」の実施**

1日1万歩、1ヶ月間でスタッフ合計100万歩を目標に、パソコン作業が多い事務局スタッフが積極的に体を動かす機会となるよう実施している。主に通勤移動や階段の利用などに加え、業務中に体を動かすなど、こまめな運動を日々心がけている。月間目標達成で社長から報奨が出ることもモチベーションが上がることに繋がり、社内のコミュニケーション力UPへの貢献を期待している。



文化シャッター株式会社



自社実業団チームによる地域のスポーツ教室や大会の開催

アルティメット*実業団チーム「文化シャッター Buzz Bullets」の選手によるアルティメット教室を毎週実施している。

また、地域の自治体と連携し、主に子ども達の運動能力向上を目指したフライングディスク体験教室や、アルティメット大会を開催している。

*7人制のチームスポーツで、フライングディスクを落とさずにパスして運び、コートの中のゴールエリア内でディスクをキャッチすれば得点となるスポーツ



株式会社ベネフィット・ワン



健康ポイントを活用したイベントや、企業対抗スポーツ大会の実施

社員の健康意識や活力向上を目的として健康ポイントプログラムを導入し、歩数を競い合うウォーキングチャレンジを実施。野球や水泳、ヨガ等、会社公式クラブの活動補助を行い、スポーツを通じた健康づくりを支援している。また、自社サービス「ベネフィット・ステーション」の福利厚生会員向けに、企業対抗スポーツイベントを11年連続で実施。社内外問わずスポーツを通じた健康づくりに積極的に取り組んでいる。



株式会社ホリプロ



社員のスポーツ部活動の推奨

マラソン部、ゴルフ部、卓球部など、社員の健康促進活動を推奨している。また、所属アスリートの試合観戦や、障害者スポーツなど、社員の積極的な観戦を促している。



株式会社マイナビ



人々の「成長」と「成功」のきっかけを支援することを 目指し、アスリートやスポーツイベントに協賛

サッカーのマイナビベガルタ仙台レディースの社員雇用および社員による試合観戦と応援をはじめ、ビーチバレー、サーフィン、高校総体、野球、バスケットボール、ゴルフ、ボクシングなど様々な分野で各種支援を行っている。



株式会社VOYAGE



意識しないで毎日健康・ウォーキング通勤のほか、 始業時にはVOYAGEストレッチを実施

通勤定期を、最寄り駅(丸の内線/新宿御苑前)ではなく、新宿駅(JR・私鉄)または新宿三丁目(都営)までとし、会社まで歩く仕組みを導入している。雨や雪等の場合は、途中まで地下道を歩く。ただし、営業等業務上は最寄り駅を使用している。また、始業時に独自ストレッチを実施。社内SNSを通し、ストレッチの方法等を紹介し合って取り組んでいる。



堀江車輛電装株式会社

堀江車輛電装株式会社



障害者と健常者の混成 フットサルチームの発足・運営

障がい者支援事業部を中心に、社内・取引企業の有志と障害者の混成フットサルチームを発足し、日々活動を継続している。社員に向けた障害理解の促進と共に、スポーツというコンテンツを通じた障害理解の仕組み作りの発信を目指している。



前田道路株式会社

前田道路株式会社 東京支店

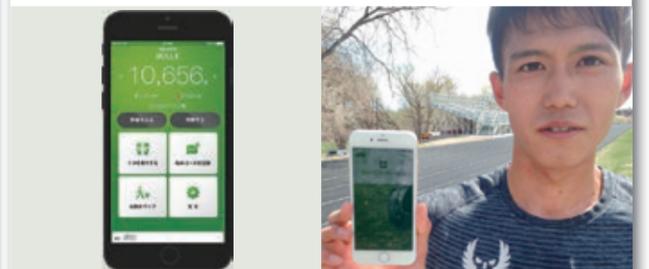


毎朝のラジオ体操の実施

職場従業員全員で毎朝のラジオ体操を実施している。平日の始業チャイムの後に「ラジオ体操第一」を流し、各部署のリーダーが前に出て体操を実施している。取組を通じて、他の社員の体操の様子を観察することにより、健康状態の把握も同時に図り、職場にメリハリと活気が出ている。



マニライフ生命保険株式会社



楽しく歩くことをサポートしながら社会貢献も できるアプリ「マニライフウォーク」を使用した ウォーキングを推奨

一定期間の社内キャンペーンを実施し、アプリを使用したウォーキングを推奨した。参加した社員の歩いた歩数1歩=1円として東北・熊本の被災地に寄付を実施した。また、マニライフ生命がスポンサーするプロランナー大迫傑選手もアプリを使用しウォーキング推奨に貢献した。

MIZUHO

株式会社みずほフィナンシャルグループ



社内外においてスポーツの普及、推進に向けた取組を幅広く実施

子供たちへのサッカー教室の開催、社員ポッチャ体験会、ジャパンパラ競技大会の団体観戦等、スポーツに触れ合う機会を積極的に設けている。
また、東京2020大会を始め、サッカー日本代表や日本障がい者スポーツ協会等各種イベント、団体等の支援も実施している。



医療法人社団 三医会
鶴川記念病院
鶴川リハビリテーション病院

医療法人社団三医会



企業対抗大会への参加や毎週月曜日の朝のラジオ体操の実施

毎週月曜日の全体朝礼前にラジオ体操の実施、また最寄の駅から徒歩や自転車などでの通勤を推進している。フットサル・バレーボール・バドミントンなど職員のスポーツ活動の支援を実施。フットサルは年に1度行われるコーポレートゲームズに参加している。また、膝の体操や腰痛体操等を毎年行っている。



都市に豊かさと潤いを
三井不動産

三井不動産株式会社



オリンピック・パラリンピック競技の体験教室を開催

一流アスリートを講師として、オリンピック・パラリンピック競技を紹介し、体験の場を提供する1day スポーツ教室“三井不動産スポーツアカデミー for TOKYO 2020”を開催している。



すまいとくらしの未来へ

三井不動産レジデンシャル

三井不動産レジデンシャル株式会社



スポーツフェスティバルの開催

健常者、障害者の区別をせず、広くたくさんの人たちが同じ舞台、同じルールで参加できる開かれたスポーツフェスティバルとして“ザ・コーポレートゲームズ東京”を開催している。企画・運営することによって東京湾岸エリアの活性化を目指している。



三井化学

三井化学株式会社



運動量等によって得られるマイルを貯めるヘルシーマイレージ合戦！

運動等によりポイントを獲得し、チーム又は個人で競いあう社内スポーツを実施している。スマートフォンのアプリからも登録・利用が可能で、日々の生活やイベントへの参加で獲得したポイントが様々な健康グッズと交換できるなど、参加のしやすさ、継続して楽しめる点が、社員の健康意識の向上に寄与している。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社



スポーツ界の第一線で活躍する選手を育成、各競技界の強化・繁栄に貢献

各スポーツ大会等への協賛の他、アスリート社員を雇用し、スポーツ選手としてだけでなく社会人としても一流であることをめざし、仕事と厳しい練習を両立できるようサポートしている。



三井伊勢丹ホールディングス

株式会社三越伊勢丹



オリジナルストレッチ「三越伊勢丹体操」を全社で実施

従業員の健康意識の醸成と日頃の身体づくりを目的に、オリジナルストレッチ体操「三越伊勢丹体操」を週1回朝礼時間を利用し実施している。制服、パンプスのまま短時間で出来る立ち仕事を意識した下半身中心のストレッチ運動であり、労災防止へもつなげる取組として継続している。



MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

三菱電機株式会社



障害者スポーツ普及と共生社会の理解促進プロジェクト「三菱電機 Going Up キャンペーン全国キャラバン」の展開

車いすバスケットボールを中心とした障害者スポーツの体験会・デモンストレーションを、各地の障害者スポーツ協会などの団体と連携し実施している。多くの方に体験してもらえるよう、各地のメディア主催イベントの中で実施している。平成29年度からは「東京2020公認プログラム」として展開している。

Murauchi.com

株式会社ムラウチドットコム



スポーツイベントへの参加など全社でスポーツを奨励してブログで共有

スポーツ用品販売やスポーツメディア「スポリート」の運営などからスポーツ推奨の土壌ができており、朝礼での体操時間の設定や地元スポーツイベントの参加や応援など、定期的に身体を動かす機会を提案している。またその体験を自社運営のブログサービス「ムラゴン」で社員が自由に発信できる環境があるため、社内全体で共有することができている。

インテリア
むらそう

有限会社村装



スポーツ大会(テニス)への選手派遣

積極的にテニス大会へ選手を派遣し、平成28年度は軽井沢国際ベテラン優勝、全日本ベテランベスト8など、優秀な成績を取っているほか、当社所在地周辺のテニスサークル活動への参加や、テニスの競技指導、活動支援を行って親睦を深めている。

m medicalnet

株式会社メディカルネット



モットーは文武両道!部活動を奨励し、仕事もスポーツも真剣に楽しむ環境を整備

皇居ラン部は、月1回実施、誰でも参加可能で毎回5~20名が参加。1周約5kmの皇居の外周を走る。他社を交えた懇親会もあり、スポーツを通じた交流の場になっている。また、駅伝部は、年2回程度大会を実施。誰でも参加可能で毎回30~40名が参加。1周約5kmの皇居の外周を1周づつ4名でタスキをつなぐ。フットサル部は、IT健康保険組合主催のイベントやITフットサルリーグの大会に参加している。

YAZ

株式会社YAZ



運動会、部活動支援、歩数ポイント制度の導入

全社員参加の運動会の開催、部活動支援、歩数ポイント制度の導入など、日々の生活の中に運動を取り入れて貰うための様々な施策を進めている。アクティブで健康的なエンジニアを増やすことが、IT業界全体の活性化につながると考えて、社員一丸となり取り組んでいる。

確かな安心を、いつまでも
明治安田生命

明治安田生命保険相互会社



従業員の健康増進を目的とした「健康チャレンジ! キャンペーン」等の実施

4ヵ月間で合計100万歩歩くことを目標とし、あわせて食事改善・節酒・スポーツ活動・デンタルケア等に取り組む「健康チャレンジ! キャンペーン」を毎年実施している。同時期にあしなが育英会全面協力のもと、従業員や家族等が参加する「あしながMYワーク」を全国各地で開催。そのほか、社外講師・インストラクターを招聘のうえ組織単位で参加する「運動教室」・「健康セミナー」を通じて、従業員の健康増進のための取組を行なっている。

MEIWA 明和地所

明和地所株式会社



社内に社員用トレーニングジムを完備し、フィットネスプログラムを実施

自社内に設置したトレーニングジムを開放し、グループ会社も含めた従業員の健康増進を図っている。また、月に数回程度、外部講師を招いてヨガ・ストレッチ・ピラティスなどのフィットネスプログラムを実施している。小学生を対象としたサッカー大会「ジュニアフットボールフェスタCLIO CUP」に社員を派遣し、大会運営補助や情報発信を行い、次世代を担う健やかな少年少女の成長を支援している。

YASUMA CO.LTD

ヤスマ株式会社



社員のスポーツ活動に対する支援

全事業所、全部署にて毎朝始業前にラジオ体操を実施している。その他、ボウリング大会やヨガ教室(月1回)の開催、社内フットサルクラブの活動支援など、社員の健康維持管理のため様々な取組を行っている。

八千代銀行

株式会社八千代銀行



小学生のバレーボール大会及び少女サッカー大会に協賛

将来を担う地域の子供たちの健やかな成長を支援する取組として、「教育」、「スポーツ振興」の分野においてCSR活動を実施している。平成22年に小学校5年生を主な対象とした「夢の教室(日本サッカー協会主催)」を支援したことをきっかけに、「夢の教室」の対象年代である小学生の少女サッカー大会およびバレーボール大会に協賛することとなった。



山本光学株式会社



階段利用の促進

階段利用を促進しており、各事業所の階段の目につきやすい場所に手作りのポスターを掲示し啓蒙を図るなどの取組を行っている。特に、本社(6階建て)においては、3フロアの昇り降りは、原則歩くよう、取組を励行しており、東京支店(8階に入居)でも階段をできるだけ使用するように奨励している。



株式会社ユカ



社内スポーツ大会の実施 (野球大会・フットサル大会など)

支店対抗の野球大会・フットサル大会を実施。また、支店・部署対抗の運動会も実施している。いづれも参加者・優秀選手・優勝チーム等を表彰している。



リーフラス株式会社



障害者アスリートの雇用及び 講演活動の実施

5名の障害者アスリートを正社員として雇用しており、アスリートの国際大会出場時には全社員に周知し、HPや社内報等でも結果等の情報を公開・共有している。また、アスリートによる講演会や障害者スポーツの体験会も実施し、パラスポーツの普及に努めている。



リンテック株式会社



板橋区と連携しスポーツを通じて 区民と交流

本社のある板橋区と連携し、区内の障害者と少年野球チームを東京ドームのプロ野球観戦に招待しているほか、板橋Cityマラソンに協賛している。さらに、同区が推進している「スポーツで笑顔が輝くまちへ」の施策に賛同し、地域のスポーツ振興に寄与している。



株式会社読売広告社



スポーツ大会・イベントへの参加

企業対抗スポーツ大会であるコーポレートゲームズ東京に社員239名が参加した(4年連続)。また、新たに誕生した「バレーボール部」などの社内公認運動サークル5団体に対し、活動補助金を提供し、競技場の利用料や道具の購入に利用してもらい、スポーツを通じた社内交流を推進している。



ライトウェイプロダクツジャパン株式会社



自転車通勤を全力で応援

毎日の通勤で自転車を積極的に利用したくなる自転車通勤利用制度を創設した。経済的サポート:自転車通勤の特別補助、賠償保険の加入補助、自転車通勤に必要な消耗品の購入補助。安全面サポート:定期的な安全利用の講習実施。安全な利用のためのハンドブック作成。



株式会社ルネサンス



スポーツイベントへの参加や積極的な 健康づくり支援

「健康経営宣言」のもと、従業員への積極的な健康づくり支援と組織的な働き方改革を推進。社内の各部署活動及び活躍支援をはじめ、スポーツクラブ会員向けにも導入している健康アドバイスアプリを従業員の健康づくりプログラムとして活用し、日々の食事や運動記録の入力により、生活習慣の見直しや健康管理に役立てている。



株式会社Wiz



社内運動会の実施及びスポーツ推進 福利厚生制度の提供ならびにアスリートの支援

年2回、各支社で社内運動会を実施。代表含め、役職者がリーダーとなり所属部署に関係なくチーム分けを行い、様々なメンバーとコミュニケーションが取れるように取り組んでいる。また、運動ができる施設に月4回以上通った従業員に補助金を支給する制度を設けている。そのほか、Wizユニテッドでは、アスリートを雇用・支援している。

■東京都スポーツ推進企業認定制度ロゴマーク

本制度のシンボルとなるロゴマークです。



東京都スポーツ推進企業認定制度ロゴマーク

■東京都スポーツ推進企業 認定マーク

「東京都スポーツ推進企業」として、東京都の認定を受けた証です。認定を受けた企業は、認定マークを掲出、広告等に表示し、「東京都スポーツ推進企業」であることをアピールできます。



東京都スポーツ推進企業 認定マーク

平成29年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会

平成29年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会委員名簿

(平成30年1月現在)

| | 氏名 | 役職 |
|---|--------------------|---------------------------------------|
| 1 | きむら かずひこ 木村 和彦 | 早稲田大学スポーツ科学学術院教授 |
| 2 | はつせ ゆうすけ 初瀬 勇輔 | 一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事 |
| 3 | まるやま ただし 丸山 正 | 公益財団法人日本レクリエーション協会専務理事 |
| 4 | そめや まさかつ 染谷 政克 | 東京商工会議所 サービス・交流部長 |
| 5 | さいとう はるのぶ 齊藤 陽睦 | 東京都オリンピック・パラリンピック準備局パラリンピック部障害者スポーツ課長 |
| 6 | なかつぼ なおき 中坪 直樹 | 東京都福祉保健局保健政策部健康推進課長 |

委員からのコメント

- 社会貢献と連動した先駆的なスポーツの取組もあり、他の企業も取り組んで欲しい。
- 企業規模は小さいが、それに見合った取組もあり、中小企業でも参考になる。
- パラスポーツに特化した幅広い取組もあり、他の企業でも見本として欲しい。
- 地域に密着した独創的な取組があり、評価したい。

平成29年度東京都スポーツ推進企業取組事例集

平成30年3月 発行

印刷物規格表 第1類
印刷番号 (29) 130

発行 東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03(5320)7723 FAX 03(5388)1337

ホームページ <http://www.sports-tokyo.info/>

印刷 社会福祉法人 復生あせび会 abeam (アビーム)

〒112-0011 東京都文京区千石4-37-4-1F

電話 03(3945)2195 FAX 03(3943)0652



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

※石油系溶剤を含まないインキを使用しています。

